

Cintiq® 21UX

interactive pen display

ユーザーズガイド

wacom®

はじめに

このたびは、当社の液晶ペンタブレット Cintiq 21UX をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
Cintiq 21UX は、1600 x 1200 ドットの解像度を持つ 21.3 インチカラー TFT 液晶ディスプレイにペンで入力できるタブレットを組み込むことにより、コンピュータの操作がより直感的で自然なものになるように開発されました。
より軽快に、創造的にコンピュータを活用するためにお役立てください。

安全にお使いいただくために

このユーザーズガイドでは、Cintiq 21UX（以下、「Cintiq 21UX」または「本機」と呼びます）を安全に正しくお使いいただくために下記のような絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を守ってお使いください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人がけがをしたり財産が損害を受ける可能性がある内容を示しています。

⚠ 警告

■高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない

他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤作動することがあります。

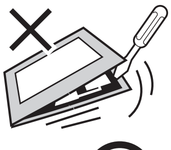
禁止

■電子機器の使用を禁止された場所では電源を切る

航空機など電子機器の使用を禁止された場所では、他の電子装置に影響を与える場合がありますので、本機の USB コネクタをコンピュータから抜いて電源をオフにしてください。

禁止

■分解をしない



本機を分解したり改造しないでください。発熱・発火・感電・けが等の原因となります。一度でも本機を分解した場合は、保証が無効となりますのでご注意ください。

分解禁止

■落下などにより本機が故障した場合は、電源ケーブルをコンセントから取り外す

電源ケーブルを接続したまま放置すると、火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

■電源プラグ・AC アダプタについて

・電源プラグのほこりは定期的に取り除いてください。たまったほこりに湿気などが加わると、火災の原因になります。

ほこりを取る

・付属の AC アダプタ以外絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。

禁止

・AC アダプタのコードを傷つけたり、無理に曲げたり束ねたりしないでください。また、重いものの下に敷いたり熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。

禁止

・万一、AC アダプタから煙が出たり変な臭いがしたときは、ただちにコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはワコムカスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

電源プラグを抜く

・濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。

水濡れ禁止

・AC アダプタを開けたり加工したりしないでください。火災や感電の原因になります。

分解禁止

⚠注意

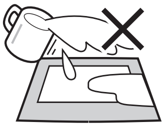
■お手入れに有機溶剤を使わない

本機をお手入れする際に、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。変色・変質する恐れがあります。

禁止

■水に濡らさない

水や液体の入ったコップや花びんを本機の近くに置かないでください。水や液体に濡れると、故障の原因となります。



水濡れ禁止

■お手入れのときはケーブル類を取り外す

お手入れのときは、ケーブル類をコンピュータから取り外してください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■重いものを置かない

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因になることがあります。

禁止

■液晶画面を強く押さない

液晶画面を強く押すと、液晶の劣化や故障の原因になります。

禁止

■動作中に金属を載せない

本機を使用しているときに、本機の上に金属性のものを載せないでください。誤作動や故障の原因となります。

禁止

■漏れた液晶に触れない

液晶には刺激性があります。万一、液晶が漏れた場合は素手で触れないでください。触れたり目に入った場合は、ただちに 15 分以上流水で洗い、医師に相談してください。

禁止

■ DVI でお使いの場合は

DVI に準拠したビデオカード以外使用しないでください。故障の原因になります。

禁止

■電源プラグを接続するときは

AC アダプタのプラグをコンセントに差し込むときは、アース線も接続してください。

アース線を接続する

■長時間お使いにならないときは

長時間お使いにならないときは、安全のため AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

■低温やけどについて

本機（液晶パネルなど）に長時間、身体の同じ部分が触れたままでいると、低温やけどを起こす場合があります。ご注意ください。

禁止

■ほこりがかからないように使う

故障の原因になります。

禁止

■裏面の換気孔をふさがない

本機内部が過熱し、故障の原因になります。

禁止

■スタンドを持って持ち上げない

スタンドに過度の力が加わると、開閉機構が壊れる恐れがあります。本機を持ち上げるときは、本機を持ってください。

禁止

■スタンドを閉じるときは、開閉機構に指を挟まれないようにご注意ください。

注意

■電子ペンについて

- 付属の電子ペンで固いものを叩かないでください。故障の原因になります。

注意

- 小さなお子様が電子ペンや替え芯などを口の中に入れないようにご注意ください。芯やサイドスイッチなどのカバーが抜けて飲み込んだり、また電子ペンが故障する恐れがあります。



- ペンを保管する場合、付属のペンスタンド以外は使用しないでください。故障の原因になります。

禁止

⚠注意

■不安定な場所に置かない



ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

禁止

■温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない

暑い場所（３５℃以上）や寒い場所（５℃以下）に本機を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本機や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

禁止

■本機とスタンドをいっしょに持ち上げる場合、必ずネジで固定する

持ち上げたときスタンドが落ちて、足をケガしたり、Cintiq が破損したり、あるいは床や家具が傷つくことがあります。また、本機が不意に回転して、誤って落とすことがあります。固定しないで持ち上げる場合は、必ず本機をスタンドからはずして持ち上げてください。

注意

■スタンドから本機をはずしてスタンドに荷重をかけない状態、あるいはスタンドを空中に浮かせた状態で開閉レバーを操作しない

バネの力でスタンドが急に閉じて、ケガをしたりスタンドが破損することがあります。

禁止

■ケーブルを軸受けから出した状態で、本機を仰向けに置かない

付け根部分に過度の力がかかり、故障の原因になります。はずした本機を置くときは、スタンドに戻すか、またはケーブルを本機上部から出すようにしてください。

禁止

■ケーブルに力を加えない

本機のケーブルに重いものを載せたり、踏んだりしないでください。また、付け根部分に過度の力を加えたり、曲げ伸ばしを繰り返したりしないでください。断線や故障の原因になります。

禁止

■電源が入っているときはケーブル等を抜き差ししない

コンピュータ及び本機の電源が入っているときには、ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください (USB ケーブル除く)。本機やコンピュータが故障する恐れがあります。

禁止

ご注意

目の健康のため、以下のことにご注意ください。

● 本機をお使いになるときは、必ず部屋を明るくし、コンピュータの画面から十分に顔を離してお使いください。
● 長時間本機をお使いになるときは、適度に休憩をお取りください。

液晶ディスプレイについて、以下のことにご注意ください。

表示中の液晶ディスプレイでは、表示内容によってはごく一部に点灯したまま、または表示されない状態で緑や赤、青のドットが見られることがありますが、これは故障や不良ではありません。あらかじめご了承ください。

液晶表示部について、以下のことにご注意ください。

液晶表示部はペンであまり強く押さないようにしてください。ペンで強く押すと、波紋状の縞模様が現れることがありますが、離すと戻ります。また、以下のような現象は液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのでご了承ください。

● 表示内容によっては、明るさにムラが生じることがあります。
● 表示内容によっては、ごく一部に点灯したまま、または点灯しないままの緑や赤、青のドットが見られることがあります。
● 細かい模様が表示されると、ちらつきや縞模様を生じることがあります。
● 静止画を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとに戻ります。
● 使用時間の経過にともなうバックライトの光の変化により、表示状態が徐々に変化します。
● 画面を見る角度によっては、色合いが多少変わります。

本機をコンピュータに接続するとき、以下のことにご注意ください。

● 付属の AC アダプタ以外は、絶対にお使いにならないでください。本機の故障の原因になります。
● 本機やコンピュータの電源が ON になっているときは、ケーブルや電源プラグを抜き差ししないでください (USB ケーブルを除く)。本機やコンピュータが故障する恐れがあります。
● 市販のケーブルで接続すると、本機が故障する恐れがあります。必ず付属のケーブルで接続してください。
● 本機が対応していないグラフィックカードを使用すると、本機が故障する恐れがあります。必ずアナログ RGB または DVI 準拠のグラフィックカードをお使いください。
● DVI/ アナログ RGB スイッチを正しく設定してください。

その他、以下のことにご注意ください。

他のタブレットなどの機器を本機のすぐ前に置くと、その機器が影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、本機の横などへ少し離してお使いください。

免責事項について

●火災や地震、第三者による事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用や使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、データの変化や消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本書で説明している以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●他の接続機器、または当社製以外のソフトウェアとの組み合わせによる誤作動から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから一年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収証（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収証の添付もない場合は、保証書が無効になります。詳しくは裏表紙をご覧ください。

電波障害自主規制等について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

● Wacom、および Cintiq は株式会社ワコムの登録商標です。
● Windows は米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
● Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
●その他の製品名などは、一般的に各社の商標または登録商標です。

ご注意

①付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。
②タブレットドライバ及び本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。
③タブレットドライバ及び本製品の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
④資源、有効利用促進法の施行により、ワコムではワコム製の使用済み液晶ペンタブレットの回収・リサイクル活動を行っています。タブレットリサイクルのお問い合わせについては、以下のインターネットアドレスをご参照ください。

http://www.wacom.co.jp/recycle/

本製品の仕向地について

本製品は日本国内向けに構成されています。

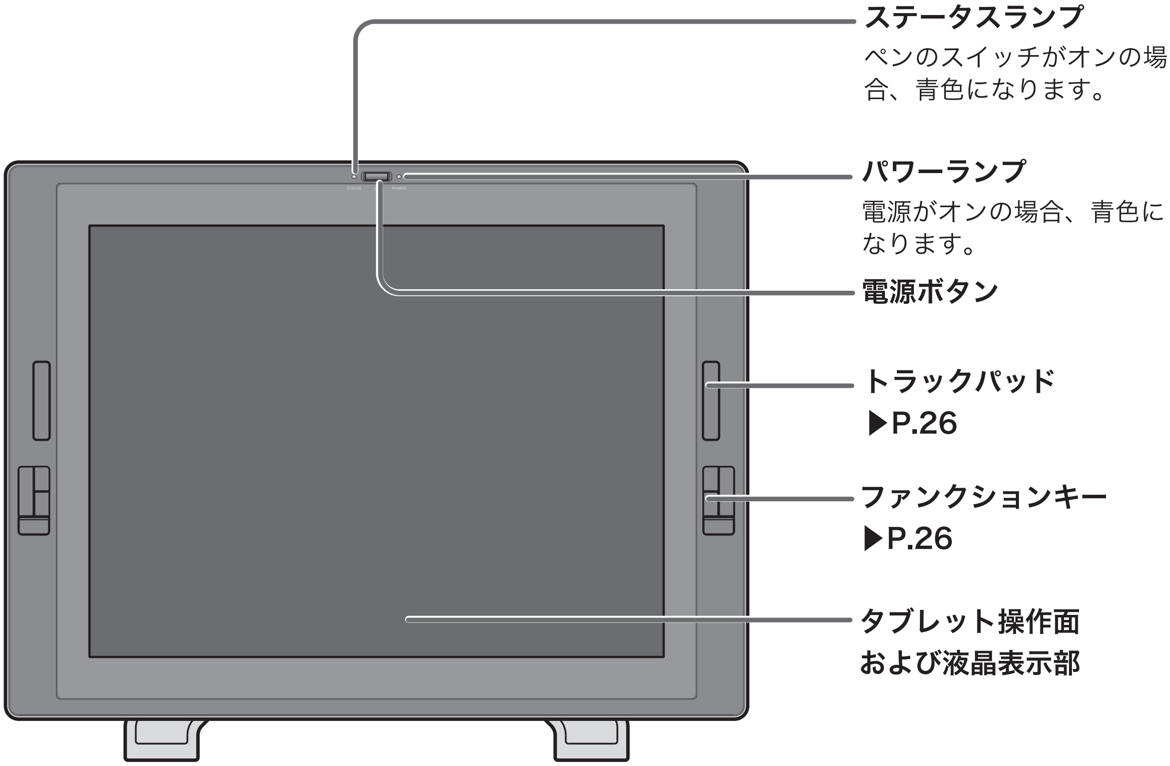
本書について

本書では、本機の接続方法、インストール方法、機能、及び使い方について説明しています。
本機はお使いのコンピュータに対して、液晶ディスプレイとタブレットという2つの独立した機器の役割を果たします。まず、本機を表示装置として接続し、次にタブレットドライバをコンピュータにインストールしてください。表示一体型タブレットとしてお使いいただけます。
本機で画面を表示するには、アナログ RGB または DVI 対応のビデオ出力が必要です。ビデオカードの使い方については、ビデオカードに付属の説明書をお読みください。

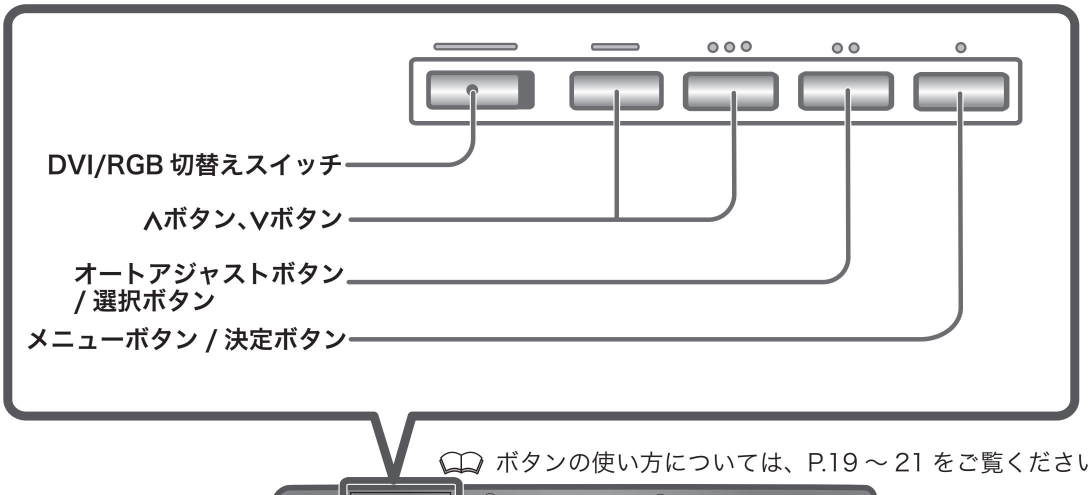
目 次

各部の名称

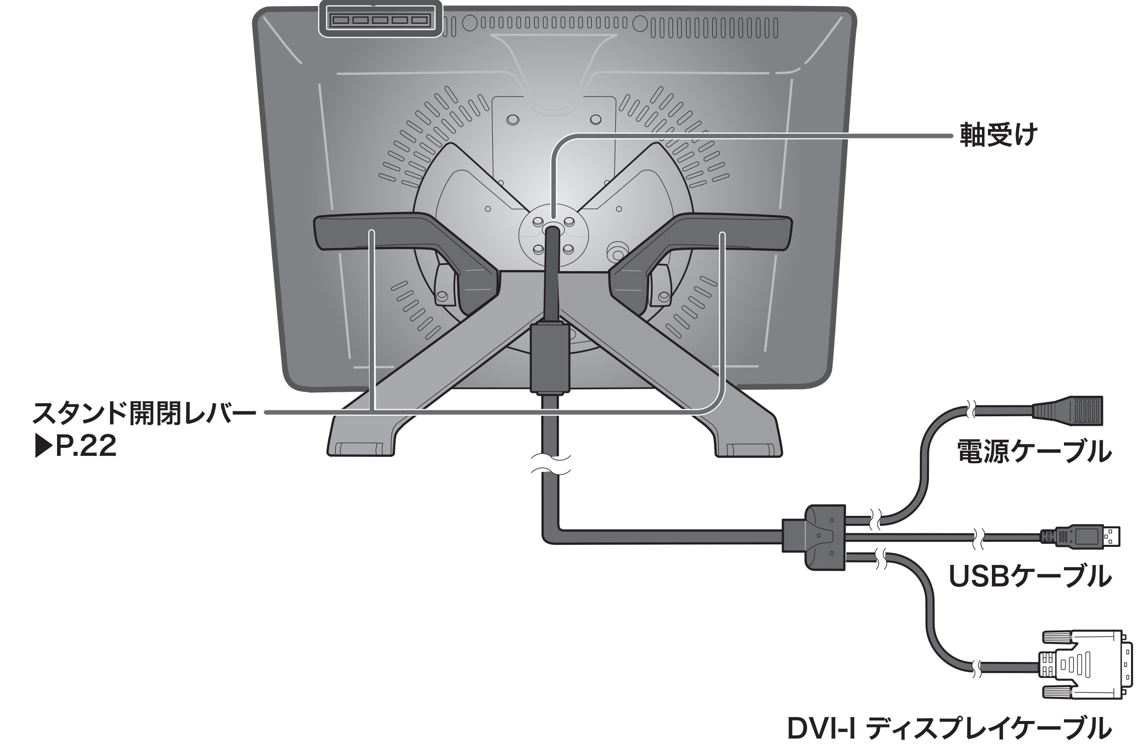
正面


ステータスランプ
ペンのスイッチがオンの場合、青色になります。
パワーランプ
電源がオンの場合、青色になります。
電源ボタン
トラックパッド
▶P.26
ファンクションキー
▶P.26
タブレット操作面
および液晶表示部

裏面



ボタンの使い方については、P.19 ～ 21 をご覧ください。



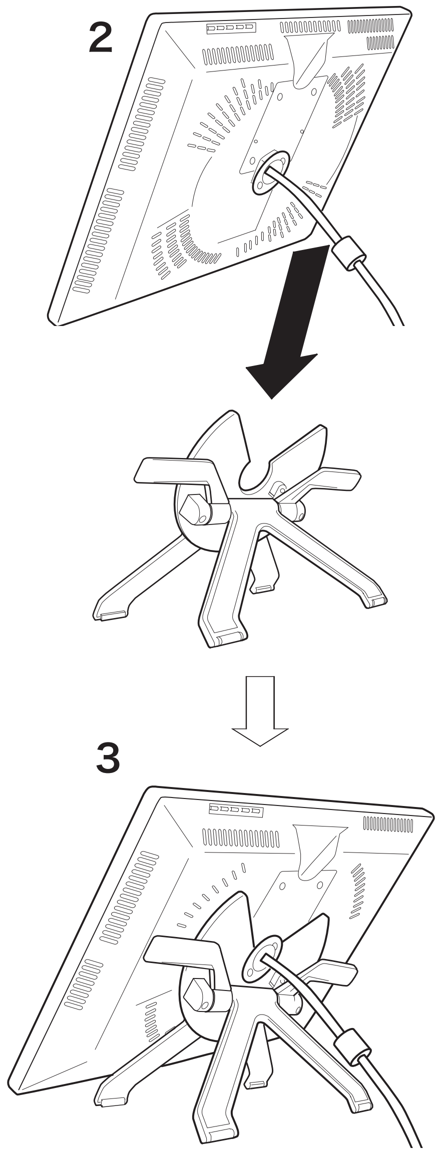
スタンドへの取り付けかた

・本機を箱から取り出して、一度置くときはうつ伏せに置いてください。このとき、正面が傷つかないように平らな台の上に布やクッションを敷いてください。
・本機をスタンドに取り付ける場合、必ずスタンドは閉じてください。スタンドの閉じ方については、同梱別紙を参照してください。

1 スタンドを安定した場所に置きます。

2 本機を持ち上げます。

3 軸受けをスタンドにかけます。



⚠注意

スタンドに過度の力がかかると、開閉機構が壊れることがあります。持ち上げるときはスタンドではなく、本機を持ってください。

マウントアームなどへの取り付けかた

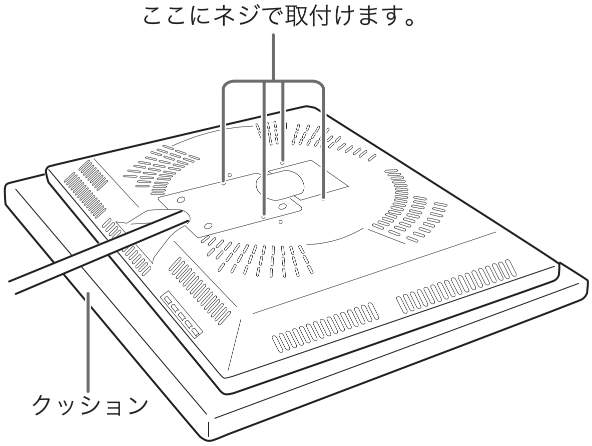
本機は VESA（Video Electronics Standard Association）の FPMPMI（Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface Standard）規格に準拠しています。本機のネジ穴の感覚は、上下左右 100mm です。
スタンドをはずして、VESA 規格のマウントアームなどに取り付けることができます。このとき、M4/0.7mm ピッチのネジが別途必要です。ネジの長さが、取り付け時の本機の表面から深さ 15mm 以内になるものを使用してください。深さが 15mm を越えますと、内部の部品を傷つけ故障の原因になります。

1 コンピュータと本機の電源を OFF にして、すべてのケーブルをはずしてください。

2 平らな台の上に本機をうつぶせに置いてください。このとき、正面に傷が付かないように布などを敷いてから置いてください。

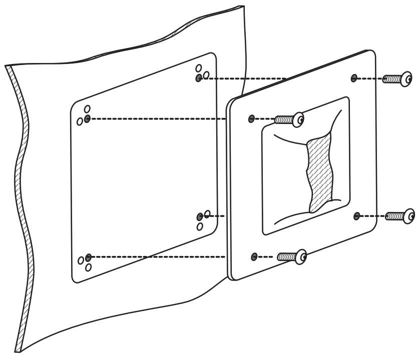
3 軸受けとカバーをはずし、ケーブルを本体の上部から引き出してください（▶ P.24-25）。

4 M4/0.7mm ピッチのネジを使って、本機の裏面にアームなどをしっかり固定してください。



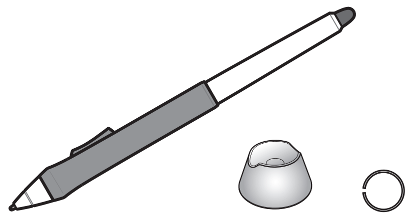
> **⚠ 注意**
> マウントアームやほかのスタンドなどに取り付ける場合は、それぞれの説明書の指示に従ってください。誤った取り付け方をされますと、はずれて落ちることがあり、故障の原因になります。

5 ケーブルを接続し、はずしたネジや軸受けは保管してください。

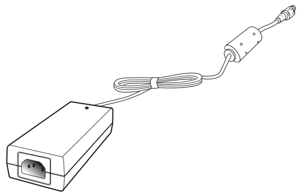


付属品のご確認

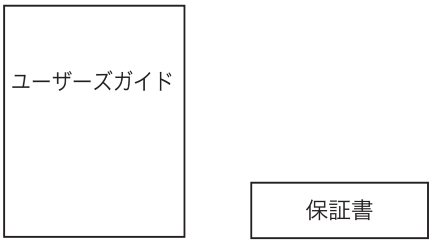
●電子ペン / ペンスタンド / 芯抜き



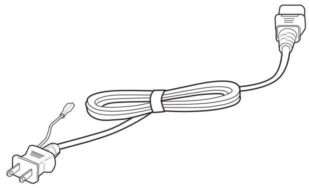
● AC アダプタ



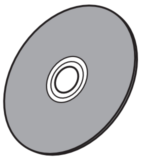
●ユーザーズガイド（本書）/ 保証書



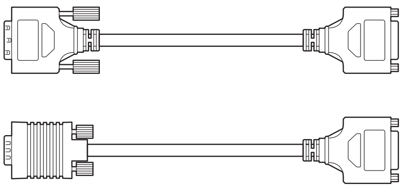
●電源ケーブル



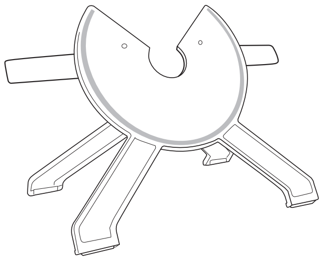
●タブレットドライバ CD-ROM



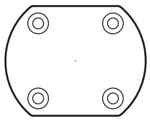
● DVI-I-DVI-D 変換アダプタ /DVI-I- アナログ RGB 変換アダプタ



●スタンド

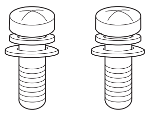


●カバー（小）

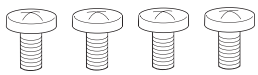


●ねじ（２種類）

・スタンド固定用 (２コ) (MNE-A059)



・カバー（小）用 (4 コ)



本機の保存や輸送のため、箱は捨てずに保管してください。

Cintiq 21UXを接続する

1 本機、及びコンピュータの電源をオフにします。

2 本機のDVI-Iコネクタとコンピュータのディスプレイコネクタを接続します。
お使いのコンピュータのディスプレイコネクタタイプにより、DVI-I-DVI-D変換アダプタまたはDVI-I-アナログRGB変換アダプタを必ずお使いください。アダプタは、コンピュータのコネクタにしっかり固定してください。

3 DVI／RGBスイッチを設定します。
手順2で、DVI-I-DVI-D変換アダプタで接続した場合は「DVI」、DVI-I-アナログRGB変換アダプタで接続した場合は「RGB」にします。

4 ACアダプタと電源ケーブルを接続し、DC電源コネクタをDC電源入力端子に接続します。
次に、電源プラグを100V電源コンセントに接続します。

必ずアース線を接続してください。

5 本機の電源スイッチをオンにします。
電源表示ランプが青→オレンジの順に点灯します。

6 コンピュータの電源をオンにします。

> ・リフレッシュレートは60Hzに設定してご使用ください。本機のリフレッシュレートを越える値を設定すると、画面が表示されないことがあります。

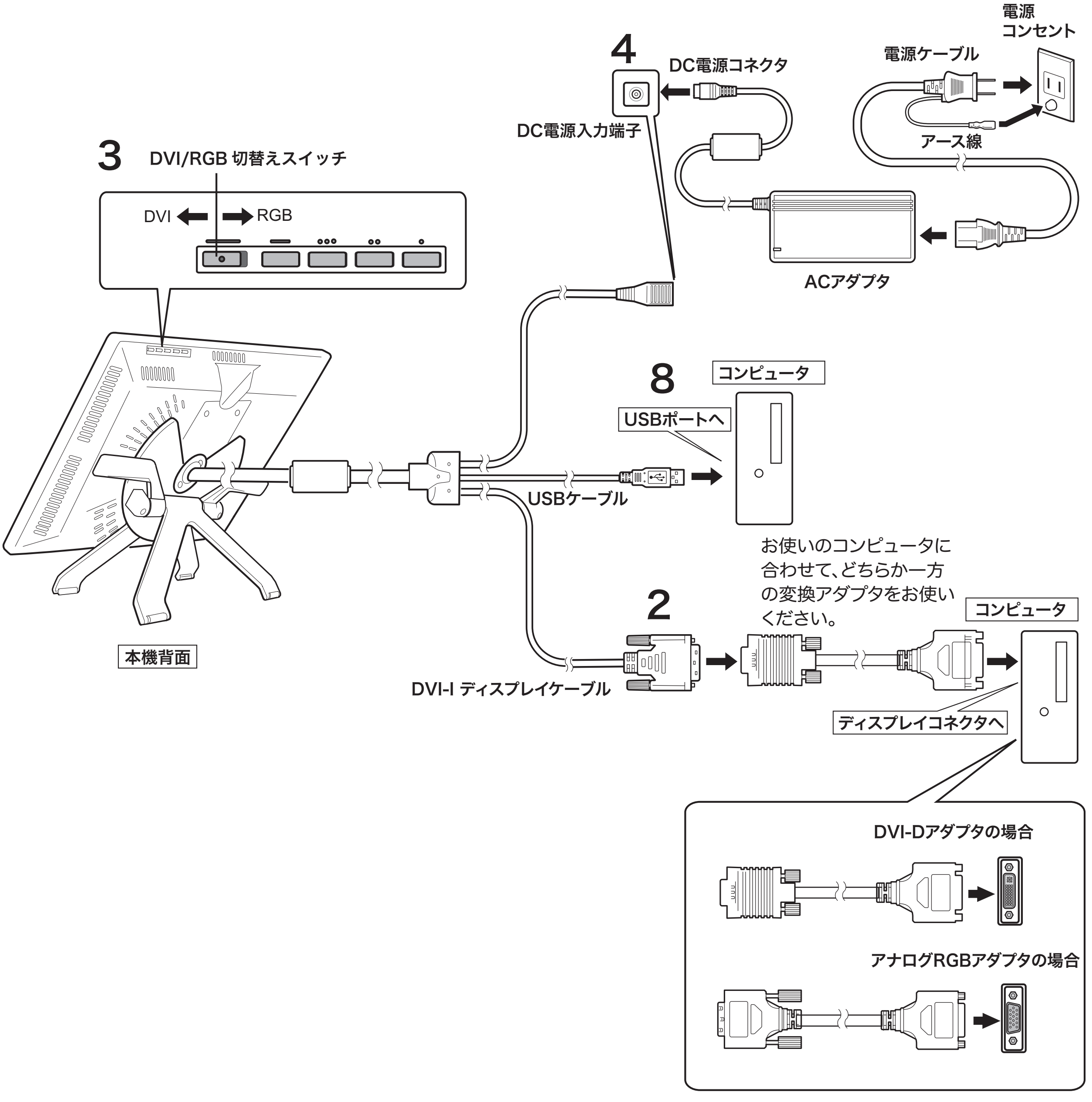
7 本機の液晶画面を見ながら、解像度と色数を設定します。

8 オートアジャストボタンを押し､画面の自動調整をします（オートアジャストボタンの場所は「ボタンの機能」（▶ P.19）をご覧ください｡）。

9 本機のUSBコネクタとコンピュータのUSBポートを接続します。

10 タブレットドライバのインストールを行います（「タブレットドライバをインストールする」（▶ P.16）をご覧ください）。

> ・他のタブレットなどの機器を本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、なるべく離してお使いください。


電源
コンセント
4
DC電源コネクタ
電源ケーブル
DC電源入力端子
アース線
3
DVI/RGB 切替えスイッチ
DVI
RGB
ACアダプタ
8
コンピュータ
USBポートへ
USBケーブル
本機背面
お使いのコンピュータに
合わせて、どちらか一方
の変換アダプタをお使い
ください。
2
コンピュータ
DVI-I ディスプレイケーブル
ディスプレイコネクタへ
DVI-Dアダプタの場合
アナログRGBアダプタの場合

タブレットドライバをインストールする

Windows でのセットアップ

1 インストールの前に本機の USB ケーブルをコンピュータに接続してください。

2 タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、インストールメニュー画面が表示されます (表示されない場合は、CD-ROM の中の「Install.exe」をダブルクリックしてください)。

注意： ・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール／実行」をクリックしてください。

・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

3 インストールメニューが表示されます。「WACOM タブレットのインストール」をクリックすると、使用許諾契約が表示されます。

4「同意する」をクリックします。

5 インストールが完了したら、「OK」をクリックしてインストールを終了します。

6「コントロールパネルを使う」(▶ P.32) を参考に、コントロールパネルを開き、ペンの設定、位置調整を行います。

・タブレットドライバ CD-ROM の中の ICC プロファイルはメニュー画面(▶ P.20-21 参照）でのコントラスト、輝度、色温度の設定が初期設定でお使いになられることを想定して作成されています。
・ドライバのインストールが正常に行えない場合、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してみてください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしくてださい。

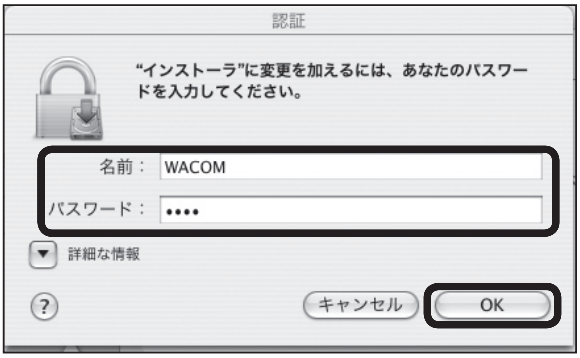
Macintosh でのセットアップ

1 USB ケーブルをコンピュータに接続します。

2 タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、CD-ROM アイコンがデスクトップに表示されます。CD-ROM アイコンを開き「インストール」または「Install.app」をダブルクリックしてください。

3「WACOM タブレットのインストール」をクリックすると、インストールが始まります。以降、画面の説明に従ってインストールを進めてください。

操作中に認証ダイアログが表示されたら、パスワード * を入力してください。



＊パスワードとは Macintosh のログインパスワードです。

5タブレットドライバのインストールが完了したら、Macintosh を再起動してください。

Macintosh（OS X 10.2 以降）には、標準で Inkwell 機能が組み込まれています。この機能をオンにしていると、タブレットドライバのインストール終了後に Inkwell の黄色のメモ用紙が表示されることがあります。この機能を解除するには、「コントロールパネル」→「Ink」→「設定 (Settings)」の「任意のアプリケーションで Ink 機能を使用可能にする（Allow to write anywhere)」のチェックをはずします。

ドライバのインストールが正常に行えない場合、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してみてください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしくてださい。

タブレットドライバをアンインストールする

Windows の場合

1 Windows の「スタート」ボタンからコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」または「プログラムのアンインストール」または「プログラム (アプリケーション) の追加と削除」をダブルクリックします。

2リストの中から「ワコムタブレット」を選択し、「アンインストール」または「変更と削除」ボタンをクリックします。

ダイアログの指示に従い、アンインストールを行ってください。

Windows を再起動すると、ドライバが削除されます。

Macintosh の場合

1アプリケーションフォルダの中の「ワコムタブレット」フォルダを開きます。

2「ワコムタブレットの削除 .app」を起動し、指示に従ってアンインストールを行ってください。

Cintiq 21UX のディスプレイについて

オートアジャスト機能について

本機のディスプレイには､最適な画質が表示されるようにオートアジャスト機能が働きます。オートアジャスト機能が働いていると、画面の表示までに少し時間がかかります。オートアジャストによる設定は、ディスプレイに保存されます。

📖 オートアジャスト機能が働くと、表示モードを受信したときにディスプレイの水平位置と垂直位置、トラッキング、周波数が自動的に調整されます。水平周波数が 31-92KHz、垂直周波数が 56-85Hz の場合、オートアジャスト機能が働きます。

> オートアジャストの動作中は、電源スイッチ以外は操作できません。

Cintiq 21UX の省電力機能（パワーセーブ機能）

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに対応しています。DPMS（Display Power Management Signaling）に対応しているコンピュータやグラフィックボードに接続すると、操作していないときは自動的に以下のような省電力状態になります。

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	消費電力	電源表示ランプ
電源 ON	あり	あり	あり	54W 以下	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	2W 以下	オレンジ色 / 青色 *
サスペンドモード	あり	なし	なし	2W 以下	オレンジ色 / 青色 *
OFF モード	なし	なし	なし	1W 以下	オレンジ色

> ＊お使いのコンピュータやビデオカードの仕様や設定によっては、スタンバイモードやサスペンドモードでもオレンジ色のみ点灯する場合があります。

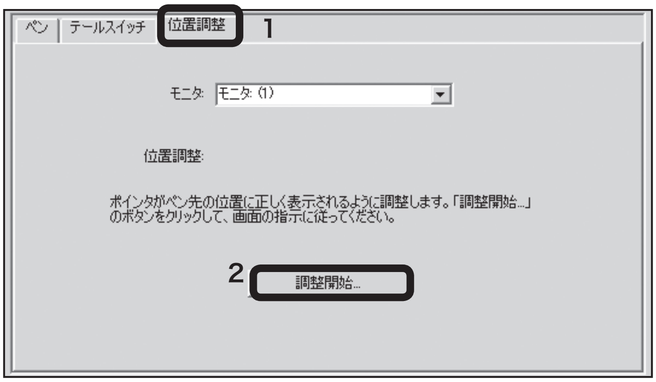
画面が液晶パネルからはみ出したり文字がにじんだら・・・

コンピュータやグラフィックボードの機種によっては、オートアジャスト機能が十分に働かず、画面が液晶パネルからはみだしたりにじんだりすることがあります。その場合、周波数とトラッキングを調整してください。解像度が 1600 × 1200 ドットのとき、もっとも調整の効果があります。

1 コントロールパネル内の「ワコムタブレットのプロパティ」を開き、「位置調整」タブを選択します。

2「調整開始 ...」をクリックします。画面調整用ストライプが表示されます。

3 メニュー画面を開いて（▶ P.20)､「メインコントロール」→「画像」→「周波数」（▶ P.21）を選択します。



4 画面調整用ストライプの左右が均一に表示されるように調整します。

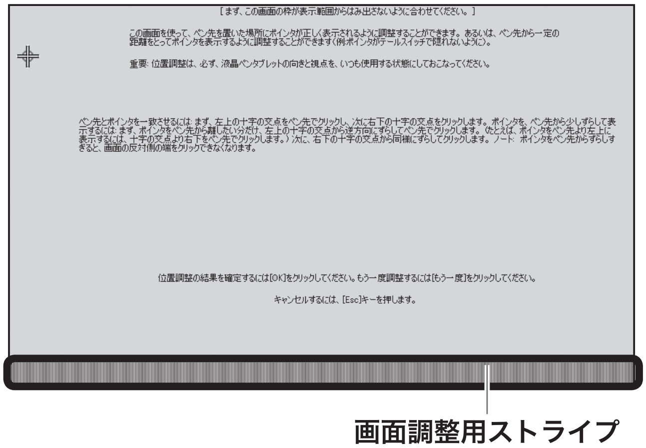
5 次に「トラッキング（▶ P.21）」を選択します。

6 画面調整用ストライプがもっともくっきり表示されるように調整します。

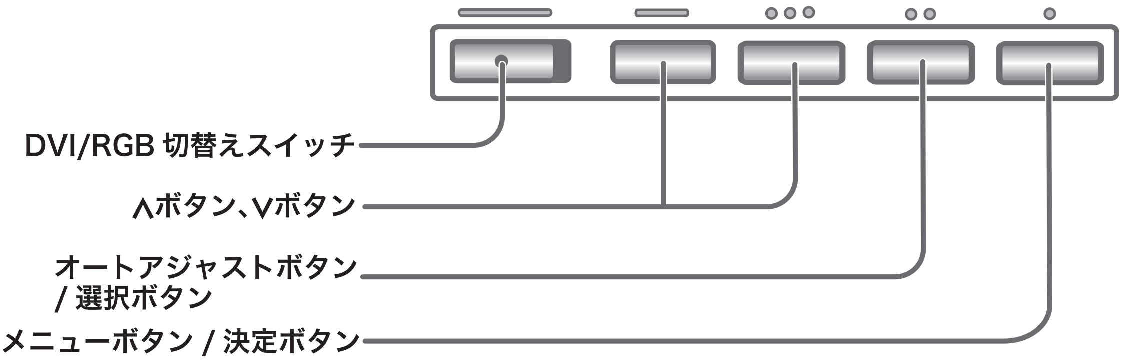
7 決定ボタン（▶ P.19）を数回押して、メインメニューに戻ります。

8 決定ボタンをもう一度押すと、メインメニューが消えます。

9 ESC キーまたはスペースキーを押して、位置調整を終了します。



ボタンの機能



ボタンには、次の機能が割り当てられています。

ボタン名	働き
メニューボタン	メニュー画面で使用します。メニュー画面を表示させたり、閉じたりします。
決定ボタン	メニュー画面で使用します。設定内容を決定します。
オートアジャストボタン	押すと、画面のオートアジャスト機能が働きます。（▶ P.18）
選択ボタン	メニュー画面で使用します。設定したい項目を選択します。
∧ボタン、∨ボタン	メニュー画面で使用します。メニューを移動させたり、数値を設定します。

ディスプレイの明るさやコントラストなどを調整する

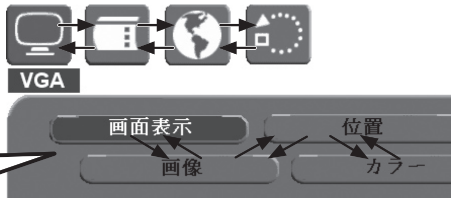
メニューボタンを押すと、メインメニュー（▶ P.20）が表示されます。調整する項目や設定したい内容を選んで、調整をおこなってください。

日本語でメニュー画面を表示するには、20 ページをご覧ください。

メニュー画面の使い方

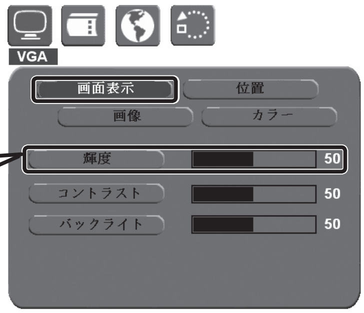
例:「画面表示」の「輝度」を調整します。

1 メニューボタンを押して、メインメニュー（▶ P.20）を表示させせます。∧ボタンや∨ボタンでメニューを移動させて、選択ボタンを押して、調整する項目を選択します。



∧ボタンで右方向へ選択できます。
∨ボタンで左方向へ選択できます。

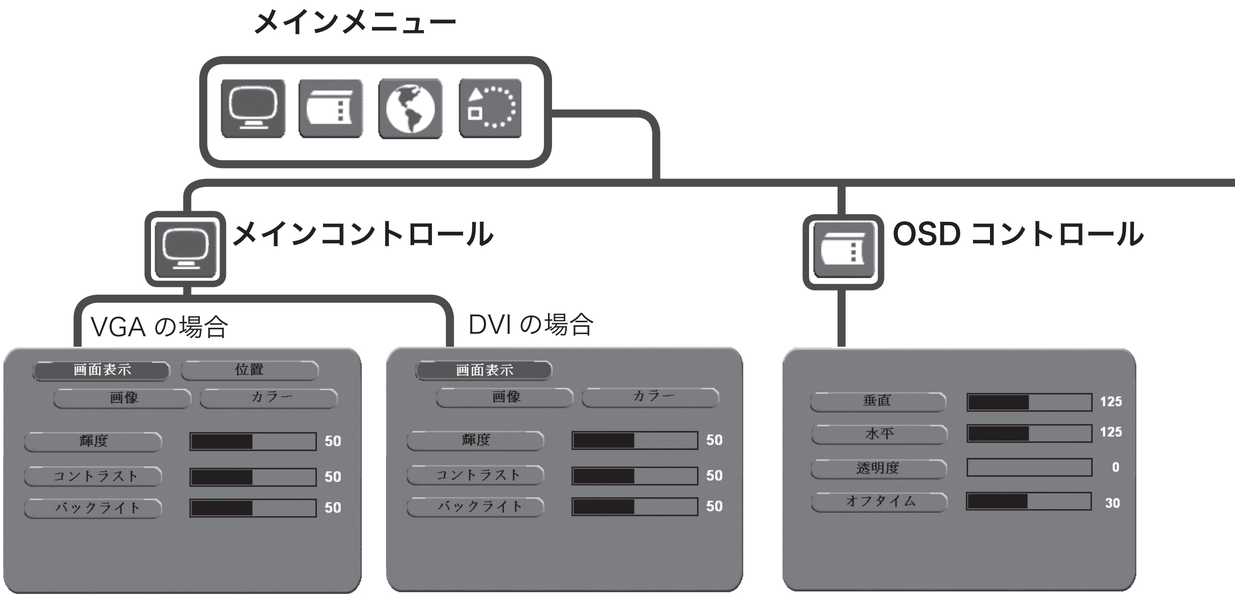
2 ∧ボタンや∨ボタンで、数値の調整などを行います。決定ボタンで数値を確定します。調整後、決定ボタンを何回か押してメインメニューに戻ります。



∧ボタンで数値が増加します。
∨ボタンで数値が減少します。

3 決定ボタンを押して、メニュー画面を閉じます。または、しばらくすると自動的に消えます。

メニュー画面の種類



・画面表示・画像
・位置・カラー

・画面表示・画像
・カラー

水平、垂直、透明度、オフタイムを調整します。

●メインコントロール

画面表示

メニュー画面	説明
輝度	画像の輝度を調整します。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。
バックライト	数値を調整して、バックライトの明るさを設定します。同時に消費電力も調整できます。

画像

メニュー画面	説明
スケーリング	表示中の画像サイズを調整します。 ・1：1：入力された画像をそのまま表示します。 ・全画面：画像を画面全体に拡大します。 ・縦横比：画像の縦と横の比率を維持して表示します。
自動調整（VGA）	画像を最適に表示します。
トラッキング（VGA）	画面の信号タイミングをグラフィックカードに合わせます。画面がちらついて、不安定な場合、この機能を使って調整をおこないます。
周波数（VGA）	画面のデータ周波数を変更して、グラフィックカードの周波数に合わせます。画面がちらついて、不安定な場合、この機能を使って調整をおこないます。

位置（VGA）

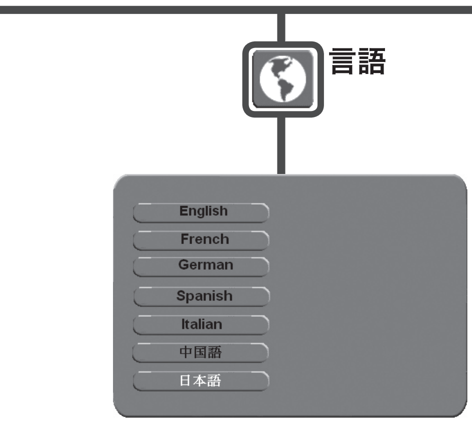
メニュー画面	説明
垂直	画面の垂直位置を調整します。
水平	画面の水平位置を調整します。

カラー

メニュー画面	説明
色温度	色温度を設定することができます。6500K、9300K、ダイレクト、カスタムの４種類から選択できます。 ・ダイレクト：グラフィックカードから直接、色が表示表示されます。 ・カスタム：赤、緑、青の表示色をそれぞれ調整できるようになります。

● OSD コントロール

メニュー画面	説明
垂直	メニュー画面の位置を縦に移動させます。
水平	メニュー画面の位置を横に移動させます。
オフタイム	メニュー画面の表示時間を変更します。
透明度	メニュー画面の背景の色を透明にします。



メニューに表示される言語を選択します。



工場出荷時の状態に戻します。

Cintiq 21UX の使い方

本機はスタンドにセットしたり、スタンドからはずして横に寝かせて使うことができます。

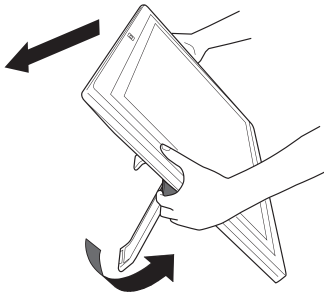
Cintiq 21UX を使いやすい角度に合わせる

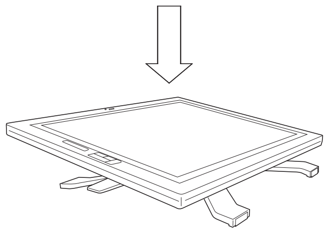
本機をスタンドにセットして、使いやすい角度に傾けて使うことができます。

Cintiq 21UX を倒す

スタンドの左レバーを手前に引きながら、本機をゆっくり倒します。途中、レバーから手を離すと、その位置で本機は止まります。

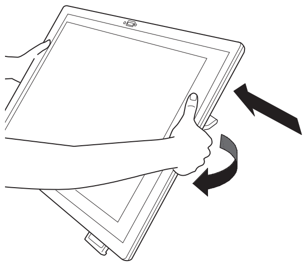
スタンドの取り付け方については 11 ページをご覧ください。

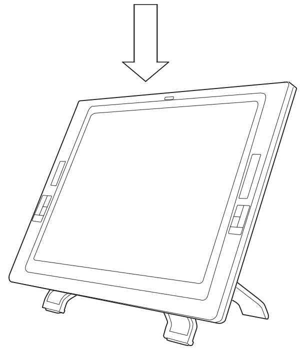




Cintiq 21UX を起こす

スタンドの右レバーを手前に引きながら、本機を持ち上げるようにして、ゆっくり起こします。途中、レバーから手を離すと、本機はその位置で止まります。



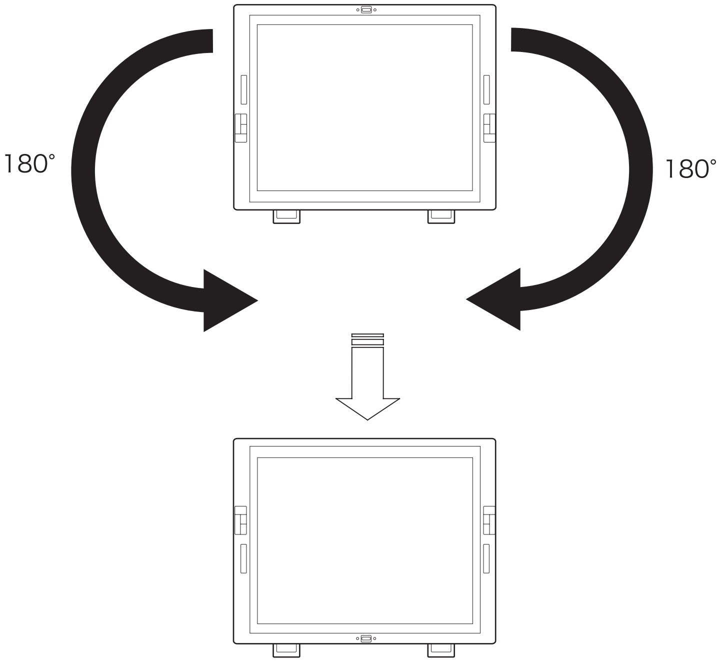


⚠注意

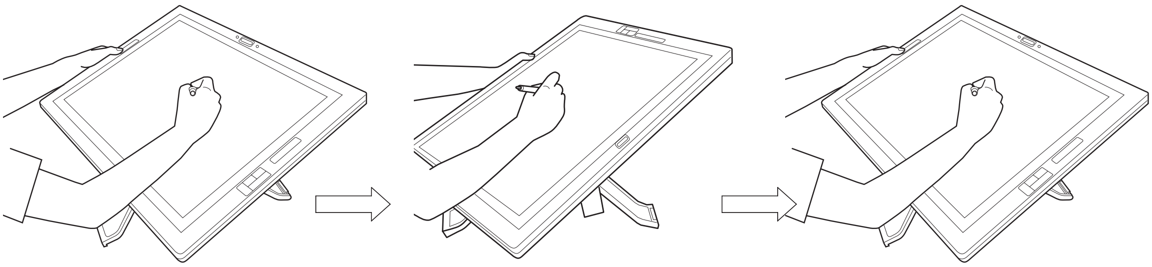
スタンドの角度を変えるときは、可動部のすきまに指をはさまれないようにしてください。

Cintiq 21UX を回転させる

本機は、反時計回り 180°から時計回り 180°まで自由に回転させることができます。

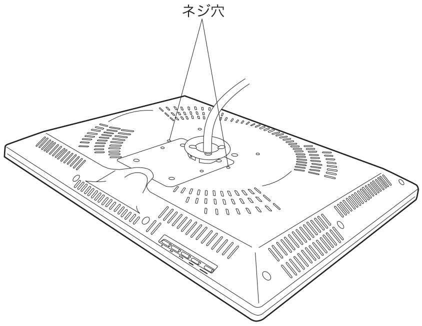


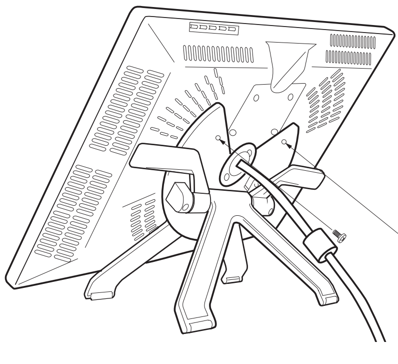
本機を回転させながら、作業を進めることができます。



Cintiq 21UX を固定する

本機を使いやすい角度に固定（▶ P.22）することができます。
本機をスタンドにセット(▶ P.11)します。スタンドをスタンド固定用のネジ(▶ P.13)で止めて、回転をストップさせます。





スタンドを使わない場合

本機はスタンドからはずして、机などの上に平置きにして使うことができます。その場合、ケーブルを本機の上部から出します。

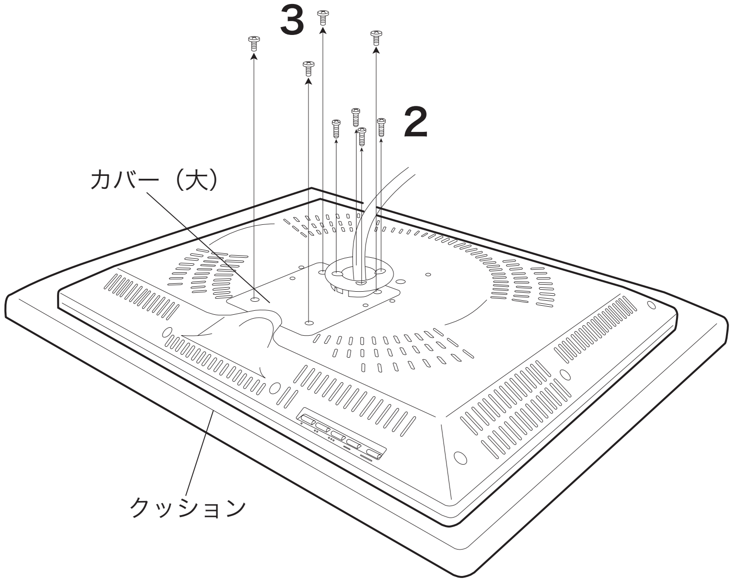
1 本機を裏返します。

ディスプレイが傷つかないように、下にクッションなどをひいてください。

2 軸受けのネジをはずします。

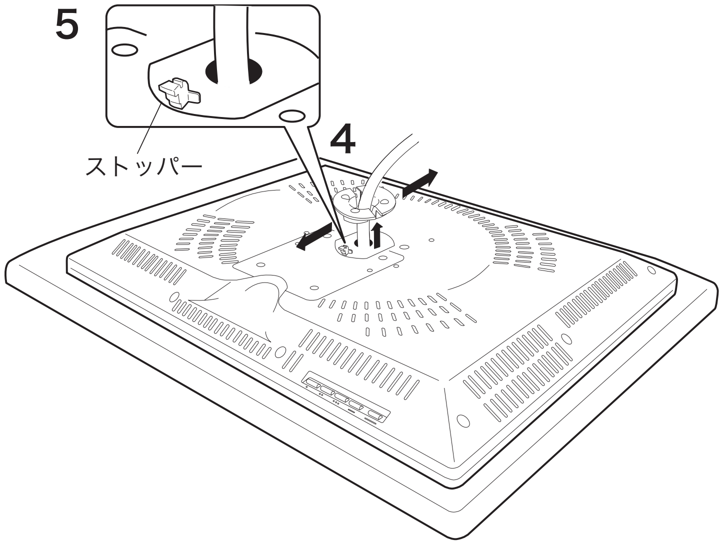
取り外したネジは、なくさないように保管してください。

3 カバー（大）のネジをはずします。



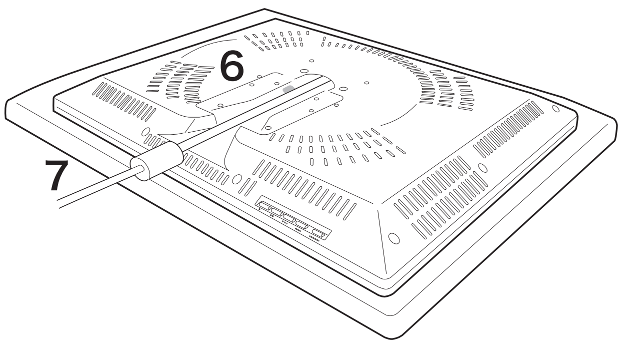
4 軸受けを取り外します。

5 ストッパーを取り除きます。ストッパーはなくさないように保管してください。



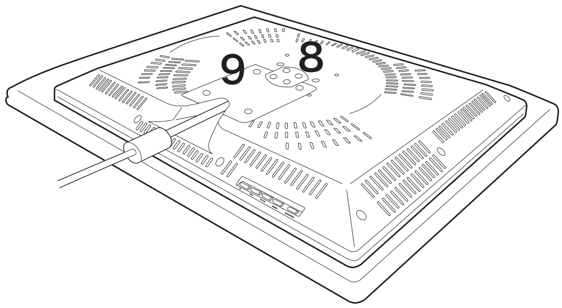
6 カバー（大）をはずします。

7 ケーブルを溝に這わせて、本機の上部から出します。

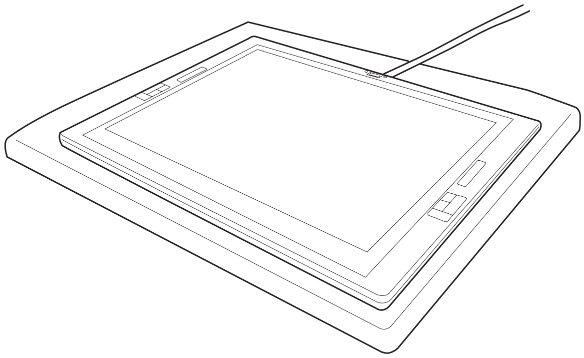


8 軸受けをはずした場所を付属のカバー（小）（▶ P.13）で覆い、カバー（小）用ネジ（▶ P.13）で止めます。

9 取り外したカバー（大）を元の位置に置き、手順 3 で取り外したネジで止めます。

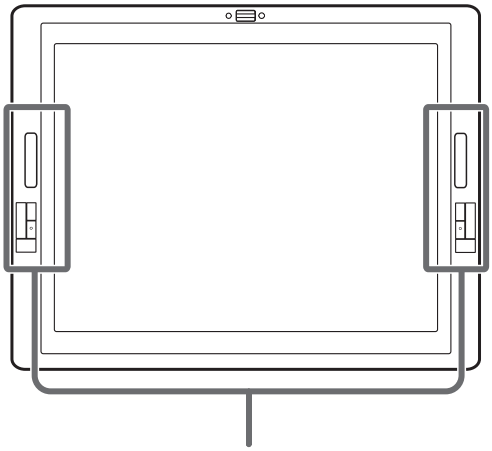


10 本機を裏返します。



エクスプレスパッドを使う

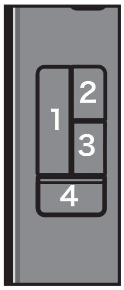
ペンを使いながら、もう片方の手でエクスプレスパッド(トラックパッド、ファンクションキー▶ P.9)を操作してショートカット機能を使うことができます。



ファンクションキーを使う

ファクションキーには、標準設定で次の修飾キーが割り当てられています。ファンクションキーはカスタマイズすることができます。
▶ P.38

	1	2	3	4
Windows	[Ctrl] キー	[Shift] キー	[Alt] キー	スクロール／移動
Macintosh	[⌘] キー	[shift] キー	[option] キー	スクロール／移動

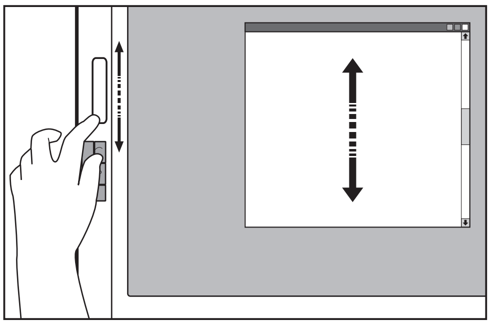


トラックパッドの使い方

トラックパッドの上で指を滑らせて使います。標準設定で、グラフィックアプリケーションではズーム機能が働き、他のアプリケーションではスクロール機能が働きます。他の機能が働くようにカスタマイズすることもできます。▶ P.38、39

3 つの方法でトラックパッドを操作できます。

操作	操作方法
通常操作	指を上下に滑らせます。拡大／縮小操作を交互に行ったり、上下にスクロールできます。
連続操作	トラックパッドの端を指で押し続けます。操作がずっと続きます。
1 回のみの操作	トラックパッドの端を指で押して放します。1 回の操作につき 1 度だけ操作を行うことができます。例えば、1 回押して放すと、ズーム操作が 1 回行われます。



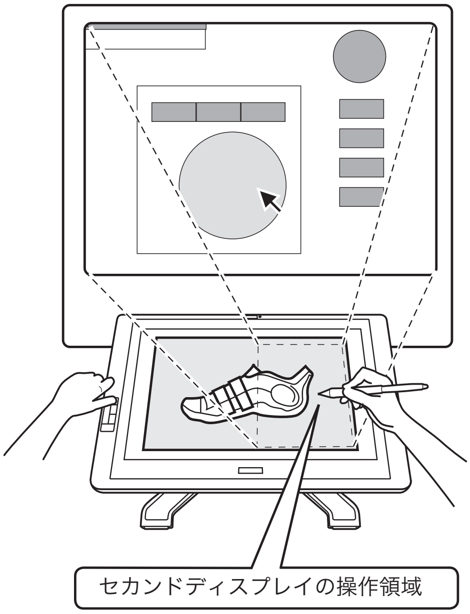
マルチディスプレイ環境で使用する

本機をマルチディスプレイ環境で使用する場合、ボタン 1 つでポインタを Cintiq からセカンドディスプレイへとスムーズに切替えられます。マウスなどに持ち替える必要はありません。マッピング画面の切替については、次の 2 つの方法があります。

標準設定では、ファンクションキーやサイドスイッチなどには「マッピング画面切り替え」機能は設定されていません。お使いになる前にファンクションキーなどに「マッピング画面切り替え」機能を割り当ててください。▶ P.42

デスクトップ全体に切替える

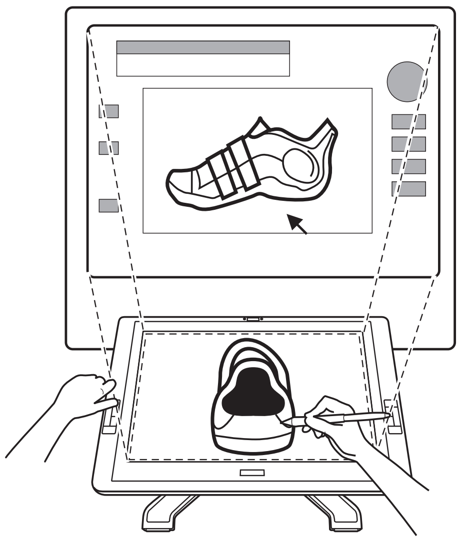
Cintiq 画面上にバーチャルディスプレイ全体を割り当てます。これにより、Cintiq 画面上で、セカンドディスプレイの画面にもアクセスすることができます。Cintiq 画面に描画領域、セカンドディスプレイ側にメニューを置いて使いたい場合に便利です。



他のディスプレイに切替える

Cintiq 画面がセカンドディスプレイの操作領域となります。操作は Cintiq 上で行いますが、ポインタは常にセカンドディスプレイ上にあります。ポインタを Cintiq 画面に戻す場合は、ボタンを押してください。

本機の画面とセカンドディスプレイにそれぞれ異なるアプリケーションを起動させ、作業を同時進行させることができます。



「マッピング画面切り替え」機能の設定

コントロールパネルを開いて「マッピング画面切り替え」タブで、タブレットのマッピングを切り替える方法を設定します。詳細は、42 ページをご覧ください。



注意：「マッピング画面切り替え」タブは、マルチディスプレイ環境の場合のみ表示されます。

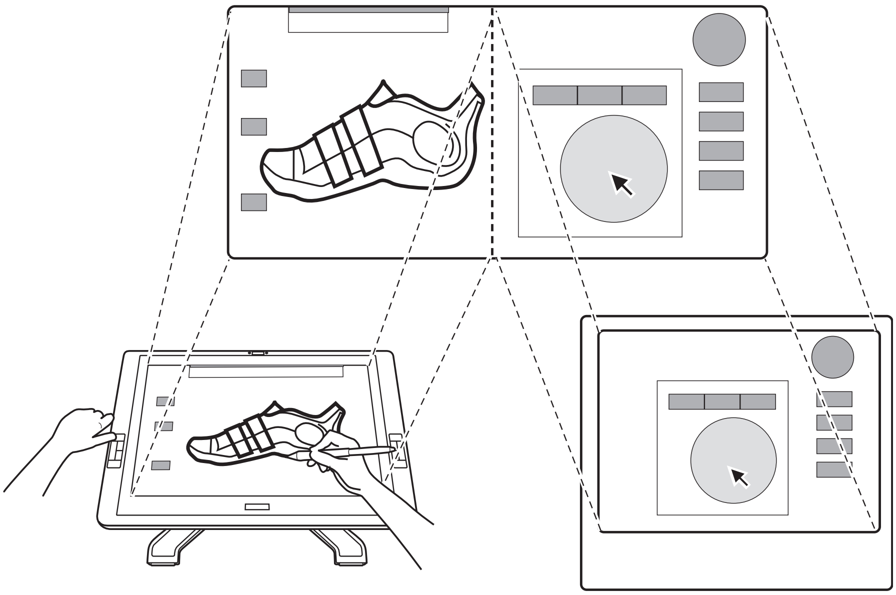
マルチディスプレイ環境で使う

本機の画面を描画用画面とし、セカンドディスプレイには、操作メニューや他のアプリケーションの画面を置くと便利です。

ペンまたはパソコンのマウスを使って、セカンドディスプレイに表示画面を移動させます。

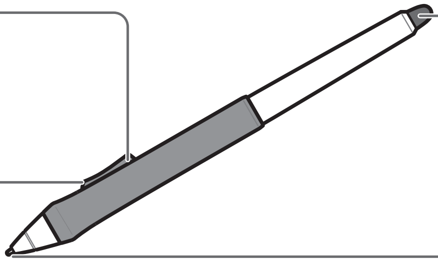
移動したい操作パレットや描画画面などのタイトルバーを選択して、画面間をドラッグさせ移動します。 移動した後、使いやすいように、ウィンドウのサイズを変更します。

2 つのディスプレイを使用することで、画面が広く使えるだけでなく、片方の画面にソフトウェア本体を置き、もう片方の画面にツールパレットやアイコンバーを置くなど、工夫次第で作業を効率よく進めることができます。



電子ペン

各部の名称と働き



セカンドサイドスイッチ
設定された機能をワンタッチで使うことができます。
▶P.34-36

サイドスイッチ
設定された機能をワンタッチで使うことができます。
▶P.34-36

テールスイッチ
消しゴムのように使用します。

ペン先
・ペン先に連動して、ポインタの位置が移動します。
・筆圧によって、線の太さや点の大きさを調整できます。
・摩耗した場合は交換ができます。▶P.45

筆圧機能、消しゴム機能はこれに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。

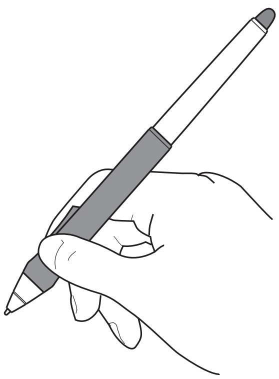
電子ペンの標準設定

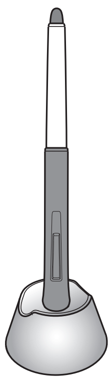
	Windows	Macintosh
サイドスイッチ	右ボタンクリック（▶ P.35）	右ボタンクリック（▶ P.35）
セカンドサイドスイッチ	ダブルクリック（▶ P.35）	ダブルクリック（▶ P.35）

・サイドスイッチ、セカンドサイドスイッチの設定については、34 ～ 36 ページをご覧ください。
・本機では、Intuos 3 に付属するペンを使うことができます。

持ち方・置き方

通常の鉛筆やペンと同じように持ちます。ペンを使わないとき、ペンスタンドに立てておきます。



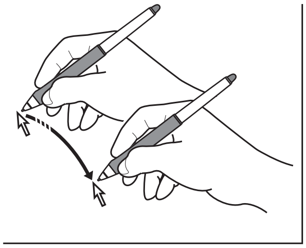


誤ってスイッチなどを押さないようにご注意ください。

ペンの基本操作

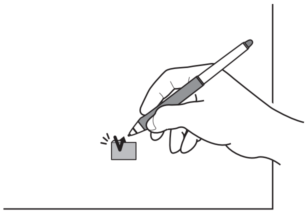
ポインタの移動

画面から少し浮かせてペンを動かすと、画面のポインタが移動します。

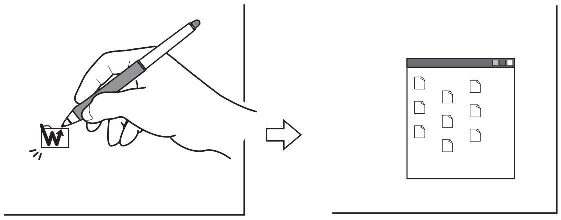


クリック、ダブルクリック

クリック
ペン先で画面を軽く１度たたきます。



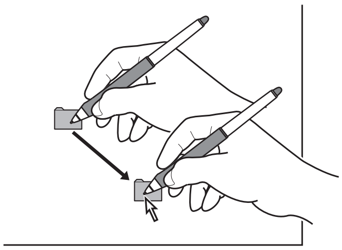
ダブルクリック
ペン先で同じ場所を連続で２度たたきます。



標準設定でセカンドサイドスイッチにダブルクリックが設定されています。

ドラッグ

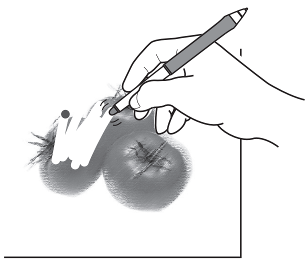
アイコンやフォルダを選択し、ペン先を押し付けたままペンを動かします。



消しゴムを使う

消しゴム機能を設定してディスプレイ上をなぞると、絵や手書き文字が消しゴムで消したように消えます。

消しゴム対応のアプリケーションでお使いになれます。



ラジアルメニューを使う

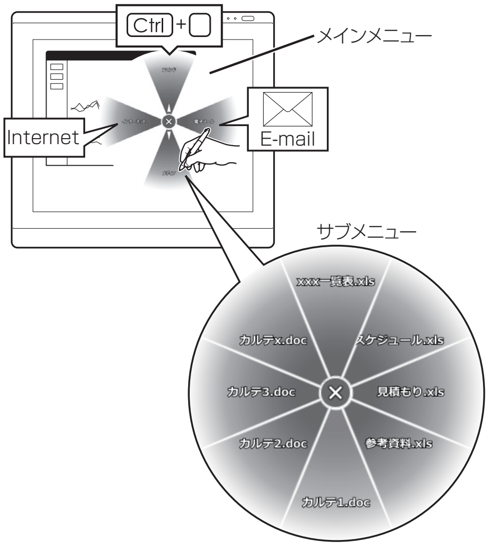
ラジアルメニューとは

ユーザが任意に作成し、画面上のお好きな位置に表示できる円形のメニューです。

●コマンドやショートカットが、キーボードを使わず電子ペンから使えます。

●サイドスイッチのワンクリックでポインタの位置に呼び出せるので、通常のメニューよりも便利に使えます。

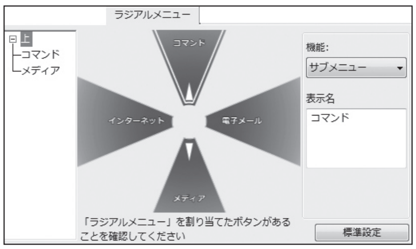
●自由なカスタマイズができます。頻繁に使うコマンドやアプリケーションソフト、ファイル等をメニュー項目に登録し、直接起動することができます。



設定する

1 **ペンタブレットのコントロールパネルを開き、ラジアルメニューにメニュー項目を登録します。**

・メインメニューおよびサブメニューには 8 項目まで機能を登録することができます。
・コントロールパネルの開きかたは本書 32 ページをご覧ください。
・登録方法については、本書 41 ページをご覧ください。



2 電子ペンのサイドスイッチに「ラジアルメニュー」を設定します。

・設定方法は本書 41 ページをご覧ください。

コントロールパネルを使う

コントロールパネルから、ペンの設定を変えたり、ポインタとペン先の位置を調整します。

コントロールパネルを表示する

Windows での開き方

Windows の「スタート」ボタンから「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「ワコムタブレット」の順に開き、「ワコム タブレットのプロパティ」を選択します。
コントロールパネルの「ワコムタブレットのプロパティ」を選択して開くこともできます。

タブレット設定ファイルユーティリティについて

タブレット設定ファイルユーティリティはコントロールパネルの設定を初期化します。ポインタの操作がおかしくなったときなどにお使いください

Macintosh での開き方

「システム環境設定」→「ワコムタブレット」の順に開きます。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを開いてください。

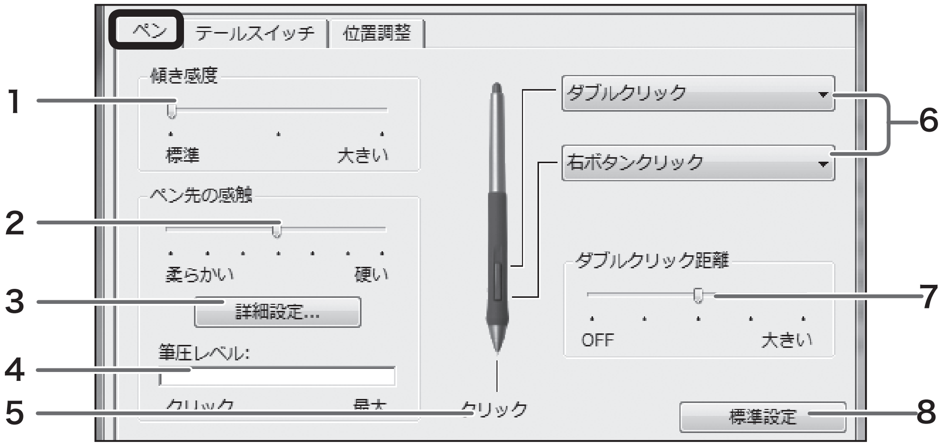


番号	設定項目	内容
1	タブレット	現在、登録されているタブレットが表示されます。選択すると、青色の枠で囲まれて、変更を行うことができます。
2	入力デバイス	ファンクションアイコンと現在、登録されているペンが表示されます。選択すると、青色の枠で囲まれて、変更を行うことができます。
3	アプリケーション	現在、登録されているアプリケーションが表示されます。選択すると、青色の枠で囲まれて、変更を行うことができます。
4	オプション	サイドスイッチエキスパートモード * を設定します。
5	タブレットについて	タブレットとタブレットドライバの情報が表示されます。タブレットの診断をするには、「診断」ボタンをクリックします。
6	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。
7	ヘルプ	コントロールパネルについてのヘルプを見ることができます。

＊標準設定では、ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチを押すと、設定された機能が働きます。「サイドスイッチエキスパートモード」は、サイドスイッチを押しながら、ペン先でクリックしたときにサイドスイッチに設定された機能（例えば右ボタンクリックや中ボタンクリック）が働くよう設定できます。右ボタンや中ボタン操作での細かい位置決めが必要なときにはこの設定が有効です。コントロールパネルの下の「オプション」ボタンを選択して、「オプション」ダイアログボックスを表示して設定します。

ペンの設定を変更する

ペンのタブを選択します。

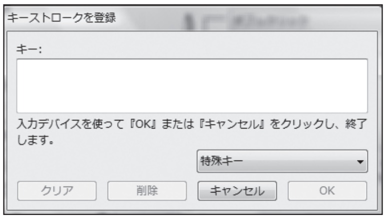


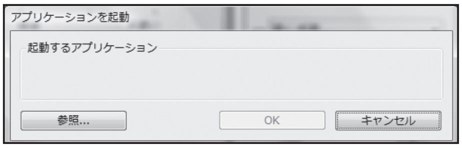
番号	設定項目	内容
1	傾き感度	傾き検出機能対応のアプリケーションで設定できます。 ・大きい　：大きくペンを傾けなくても、傾きが検知されます。 ・標準　　：標準的な傾きが検知されます。
2	ペン先の感触	ペン先の筆圧感知を 7 段階に設定できます。スライダーを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・柔らかい: より軽く押して検知することができます。 ・硬い　　：より強く押して検知することができます。
3	詳細設定	「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。ペン先の感触を細かく設定できます。▶ P.37
4	筆圧レベル	ペン先でタブレットを押して、現在の筆圧の設定をテストします。
5	クリック	ペン先を押したときに働く機能を設定できます。▶ P.34 ～ 35
6	セカンドサイドスイッチ設定 サイドスイッチ設定	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。 機能の詳細は「スイッチとボタンの設定」(▶ P.35 ～ 36) をご覧ください。
7	ダブルクリック距離	ダブルクリックの 1 度目と 2 度目のクリック間の距離を 5 段階に設定できます。スライダーを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・小さい ：より狭い範囲での 2 度のクリックをダブルクリックと認識します。 ・大きい ：より広い範囲での 2 度のクリックをダブルクリックと認識します。
8	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

傾きをサポートするアプリケーションについてはワコムのホームページをご覧ください。
ワコムのホームページ http://tablet.wacom.co.jp/application/application_index.html

スイッチとボタンの設定

> 設定できる機能は、ペンおよびファンクションキーのスイッチやボタンによって異なります。

機能名		内容
Windows	Macintosh	
クリック		通常のマウスのボタンクリックと同じ働きをします。
中ボタンクリック		
右ボタンクリック		
ダブルクリック		ワンタッチでダブルクリックの働きをします。
クリックロック		ワンタッチでマウスの左ボタンを押し続ける働きをします。ドラッグするときに便利です。解除するときはスイッチ (またはボタン) を押すかペン先でクリックします。
第４ボタンクリック		マウスの第４ボタンと同じ働きをします。Windows では、インターネットブラウザの「戻る」機能が設定されます。
第５ボタンクリック		マウスの第５ボタンと同じ働きをします。Windows では、インターネットブラウザの「進む」機能が設定されます。
戻る		インターネットブラウザなどの「戻る」機能が設定されます。
進む		インターネットブラウザなどの「進む」機能が設定されます。
キーストローク ...		ワンタッチで任意のキーの組み合わせを押す働きをします。 選択すると下の画面が表示されますので、任意のキーの組み合わせを入力し「OK」をクリックしてください。 ※ Shift、Alt、Ctrl キーのどれかを入力する場合は、必ず文字キーも入力してください。 
修飾キー ... ■ Windows の場合 ※ Shift、Alt、Ctrl キーの代わりをします。 ■ Macintosh の場合 ※ shift、option、⌘、control キーの代わりをします。		ワンタッチで、Shift、Alt、Ctrl キーのどれか、または全部を同時に押す働きをします。 選択すると下の画面が表示されますので、任意のキーにチェックを付け「OK」をクリックしてください。 
マッピング画面切り替え (マルチディスプレイ環境で使用の場合)		マッピング画面切り替え機能を設定します。▶ P.42
ラジアルメニュー		画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、８つの項目から構成され、オプション機能を設定することができます。

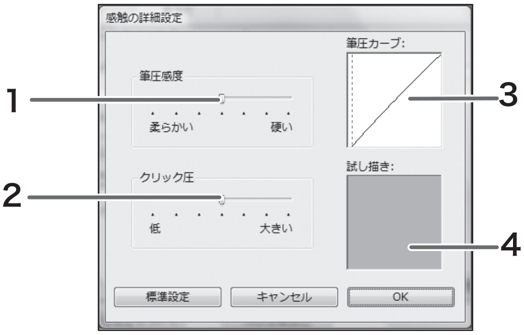
機能名		内容
Windows	Macintosh	
スクロール／移動 ...		ハンドツールが使えるアプリケーションでは、ハンドツールで、開いているファイルや画像をウィンドウの中で自由に移動させることができます。ハンドツールが使えないアプリケーションでは、上下左右の画面のスクロールになります。スクロールの速度は 5 段階に設定できます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・遅い : スクロールの速度をより遅く設定します。 ・速い : スクロールの速度をより速く設定します。 アプリケーションのなかには、スクロールが縦方向にしか働かないものがあります。
タスク切り替え		起動中のアプリケーションが一覧表示されます。使いたいアプリケーションを指定すると、画面の手前に表示されます。
Tablet PC 入力パネル ※ Windows Vista Home Basic 除く		Windows Vista とタブレット PC でお使いになれます。ワンタッチでタブレット PC 入力パネル (手書き入力パネル) を表示します。
Windows Journal ※ Windows Vista Home Basic 除く		Windows Journal は Windows Vista とタブレット PC に搭載されるアプリケーション (手書きメモ帳) です。ワンタッチで Windows Journal を開きます。
開く／起動…		ワンタッチで任意のアプリケーションやファイルを開くことができます。 選択すると下の画面が表示されますので、「参照」をクリックして任意のアプリケーションやファイルを選択し「起動するアプリケーション」欄に表示させたら「OK」をクリックしてください。 
筆圧一定		スイッチが押されている間、筆圧を一定に保ちます。同じ太さの線を引くときなどに便利です。
プレシジョンモード		現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能が割り当てられたサイドスイッチを押したままにします。サイドスイッチを放すと、通常のマッピングに戻ります。 ヒント：マルチディスプレイ環境で「マッピング画面切り替え」を使って、他のディスプレイがペンで操作できる場合にお使いください。
消しゴム		ペン先で消しゴム機能が使えます。
	Ink 文字認識 ON/OFF(Macintosh のみ) ※ OS X 10.2 以降のみ表示されます。	Inkwell 文字入力の ON/OFF を選択することができます。 【Inkwell とは・・・】 手書き認識機能を「入」と「切」に切り換えます。「入」にすると、筆跡が認識されるようになり、テキストがドキュメントに挿入されます。Inkwell の詳細については、Macintosh のヘルプをご覧ください。
デスクトップの表示		ワンタッチで開いているウィンドウをすべて最小化します。
	Exposé(Macintosh のみ)	画面に開いているウィンドウをタイル表示します。
アプリケーションの設定に従う		アプリケーションにボタンの数のみ知らせます。
無効		スイッチ、キーを使えなくします。
標準設定		クリックすると、全ての設定が標準（お買い上げ時の設定）に戻ります。

「クリックロック」「キーストローク ...」「Shift、Alt、Ctrl キー ...」「筆圧一定」に設定したとき

スイッチとペン先を同時に押すと、スイッチが働かないことがあります。この場合は、ペン先を浮かせながらスイッチを押してください (中指の先を操作面につけながらペン先を浮かせると、安定してスイッチを押すことができます)。

感触の詳細設定

「ペン」または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

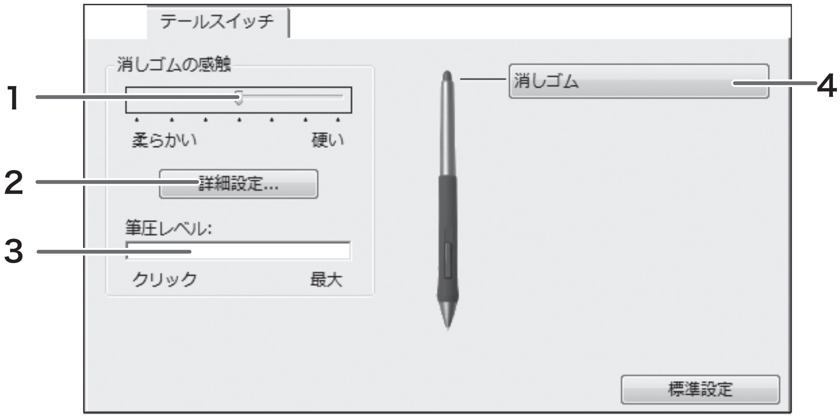


番号	設定項目	内容
1	筆圧感度	筆圧の大きさ変更できます。 ・柔らかい：柔らかいタッチで描くことができます。 ・硬い：硬いタッチで描くことができます。
2	クリック圧	ペン先でのクリックに必要な荷重を設定できます。
3	筆圧カーブ	筆圧感度の曲線とクリック圧の設定が表示されます。急激な増加を示す曲線は、ペンの感度が高いことを表しています。
4	試し描き	試し描きして、設定内容をテストできます。

「ペン」タブでのペン先の感触の設定、または「テールスイッチ」タブでの消しゴムの感触の設定は、「感触の詳細設定」ダイアログでの筆圧の設定よりも優先されます。「感触の詳細設定」ダイアログで設定を行ってから、これらの設定を変更すると、詳細設定の内容は無効になります。

テールスイッチの設定を変更する

消しゴムの感触を調整します。



番号	設定項目	内容
1	消しゴムの感触	消しゴムの設定を変更できます。 ・柔らかい：軽いタッチで消すことができます。 ・硬い：力を入れて消します。
2	詳細設定	「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます（▶ P.33）。
3	筆圧レベル	消しゴムの筆圧をテストします。
4	テールスイッチ機能	テールスイッチを押したときに働く機能を設定します。

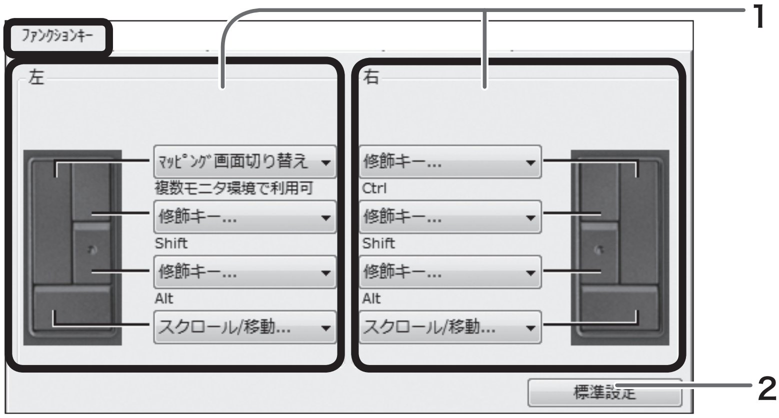
エクスプレスパッドの設定を変更する

エクスプレスパッドの設定を変更する場合、入力デバイスの「ファンクション」をクリックします。ダイアログ下のタブが「ファンクションキー」、「トラックパッド」、「ポップアップメニュー」に変わります。



ファンクションキーの設定を変更する

「ファンクションキー」タブをクリックします。
ファンクションキーには、キーストロークを設定して、アプリケーションでよく使うショートカットを設定しておくと便利です。



※「マッピング画面切り替え」はマルチディスプレイ環境の場合に表示されます。

番号	設定項目	内容
1	左ファンクションキーの設定 右ファンクションキーの設定	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。機能の詳細は「スイッチとボタンの設定」(▶ P.34、35) をご覧ください。
2	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

トラックパッドの設定を変更する

「トラックパッド」タブをクリックします。

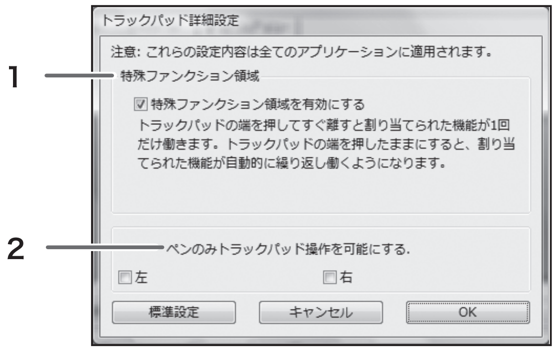


番号	設定項目	内容
1	機能	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。機能の詳細は「トラックパッドに設定できる機能」(▶ P.39) をご覧ください。
2	スクロールスピード	「▼」をクリックして、スクロールのスピードを設定します。
3	詳細設定	「トラックパッド詳細設定」ダイアログが表示されます ▶ P.39。
4	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

トラックパッドに設定できる機能

機能	内容	オプション項目
オートスクロール / ズーム	ほとんどのグラフィックアプリケーションでズーム機能が働きます。その他のアプリケーションではスクロール機能が働きます。 【注意】グラフィックアプリケーションのなかには、ズーム機能が働かないものもあります。	スクロールスピードを次の 6 つから選ぶことができます。 ・とても遅い　：スクロール、ズーム操作がとてもゆっくりになります。 ・遅い　：スクロール、ズーム操作がゆっくりになります。 ・中　：いつも通りの速さでスクロール、ズーム操作を行います。 ・速い　：スクロール、ズーム操作を速くします。 ・とても速い　：スクロール、ズーム操作をとても速くします。 ・ページ　：ページ単位でスクロールします。
スクロール	スクロール操作だけ行います。 【補足】アプリケーションによっては、スクロールがズームとして働くことがあります。完全にスクロールが無視されることもあります。	●スクロールスピードを次の 6 つから選ぶことができます。 ・とても遅い　：スクロール、ズーム操作がとてもゆっくりになります。 ・遅い　：スクロール、ズーム操作がゆっくりになります。 ・中　：いつも通りの速さでスクロール、ズーム操作を行います。 ・速い　：スクロール、ズーム操作を速くします。 ・とても速い　：スクロール、ズーム操作をとても速くします。 ・ページ　：ページ単位でスクロールします。 ●スクロールしながら、以下のキーを押すことができます。アプリケーション内でのズーム操作や他の動作を作成するのに使えます。 ・Windows　：「Ctrl」、「Alt」、「Shift」 ・Macintosh　：「option」、「⌘」、「control」、「shift」
ズーム	ズーム機能のみ働きます。 【補足】アプリケーションによっては、ズームがスクロールとして働くことがあります。完全にズームが無視されることもあります。	なし
キーストローク	キーストロークを設定します。	ボタンを押して、キーストロークを設定します。 キーストロークの設定については、P.35 を参照してください。 
無効	トラックパッドを無効にします。	なし

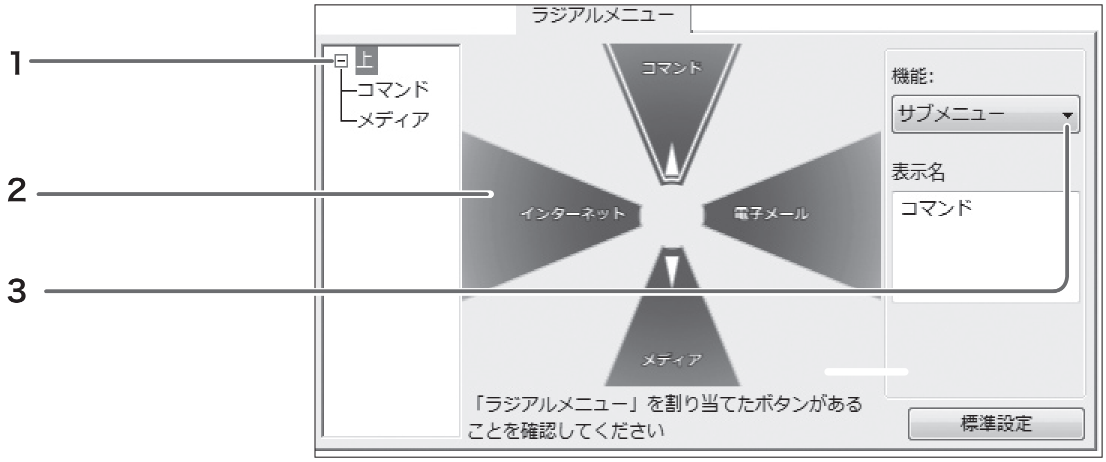
トラックパッドの詳細設定



番号	設定項目	内容
1	特殊ファンクション領域	トラックパッドの「連続操作」、「１回のみの操作」を使用しない場合は、「特殊ファンクション領域を有効にする」のチェックをはずします。
2	ペンのみ使用	チェックすると指先での操作が無効になり、トラックパッドがペンで操作できるようになります。 ・左：左側のトラックパッドが指先で操作できなくなります。 ・右：右側のトラックパッドが指先で操作できなくなります。

ラジアルメニューの設定

ラジアルメニュータブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。現在、表示されているラジアルメニューを標準設定に戻します。



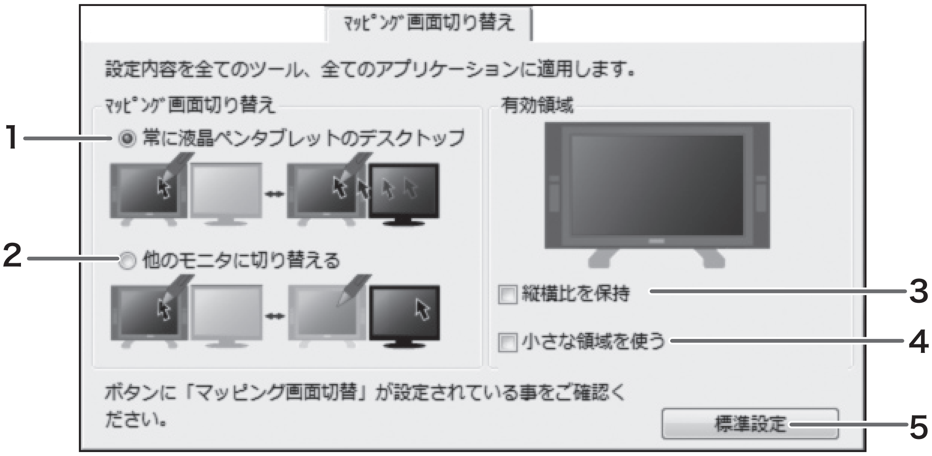
1 上、または下のサブメニューを選択します。

2 項目を選択します。

3 オプション機能を選択します。

マッピング画面切り替えを使用する

マッピング画面切り替えは、マルチディスプレイ環境で使用することができます。必ずファンクションキーのひとつに「マッピング画面切り替え」機能を設定してください。▶ P.39



番号	設定項目	内容
1	デスクトップ全体に切り替える	マッピング画面切り替え 機能が割り当てられているボタンを押すと、ポインタが Cintiq からデスクトップ全体に切り替わります。このボタンをもう一度押すと、ポインタが Cintiq に戻ります。
2	他のモニタに切り替える	マッピング画面切り替え機能が割り当てられているボタンを押すと、ポインタが Cintiq から、他のディスプレイに切り替わります。システムに複数のディスプレイが接続されている場合、ポインタは順番に各ディズプレイに切り替わり、最後に Cintiq に戻ります。
3	縦横比を保持	Cintiq とデスクトップ全体（または他のマッピング先ディスプレイ）の間で縦横比が保持されます。
4	小さな領域を使う	「小さな領域を使う」を選択すると、タブレットのアクティブエリアが 6 × 8 インチのサイズに制限されます。
5	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

複数のタブレットを使用する

複数のペンタブレットや液晶ペンタブレットを使用することができます。USB タブレットを追加すると、「ワコムタブレットのプロパティ」の「タブレット：」リストに追加されたタブレットのアイコンと名称が表示されます。追加されたタブレットの設定を行うには、「タブレット：」リストから設定したいタブレットを選択し、次に入力デバイス、アプリケーションの順に設定を行ってください。
本機を追加した場合は、追加したタブレットのアイコンを選択し、まず位置調整（▶ P.44）を行ってペンとポインタの位置が合うように設定してください。

- 接続するペンタブレットおよび液晶ペンタブレットによって、上記の手順と異なる場合があります。
- 他のタブレットなどの機器を本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、なるべく離してお使いください。

複数のペンを使用する

複数のペンを使用することができます。ペンにはそれぞれ「デバイス ID」が書き込まれており、「デバイス ID」によりペンは識別されます。例えば、鉛筆ツールで色を青に設定したものをペン 1、筆ツールで色を赤に設定したものをペン 2 とします。デバイス ID 機能をサポートしたアプリケーションソフトの場合、色鉛筆のように、ペン 1 を持つと自動的に鉛筆ツールで青色が選択され、ペン 2 を持つと筆ツールで赤色が選択されます。

特定のペンに対して設定を行う場合、その設定は、設定が行われたペンに対してのみ有効です。同じ種類のペンには番号が付きます。
ペンを追加するには、操作面上で追加するペンを使用するだけです。追加したペンは、同じ種類で最も左側に登録されているペンの設定で登録されます。
ペンを削除するには、「入力デバイス」リストの右側にある［–］ボタンをクリックします。



同じ種類のペンがタブレット上で使用されています。

デバイス ID はこれに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。

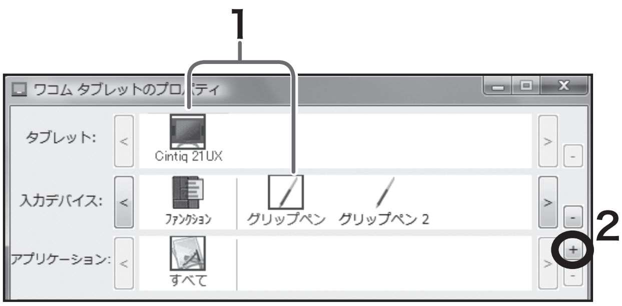
特定のアプリケーションに対する設定

ペンやマウスを、それぞれのアプリケーション専用に設定することができます。例えば、あるアプリケーションではペン先の筆圧を硬めにしたり、他のアプリケーションでは柔らかく設定したりできます。

【手順】

1 タブレットとペンを選択します。

2「+」ボタンをクリックします。

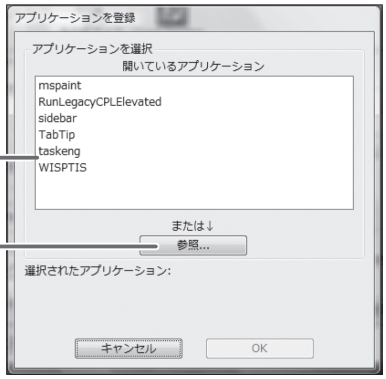


3「アプリケーションを登録」ダイアログボックスで次の方法のうちどちらかでアプリケーションを選択します。
(1) 設定を作成するアプリケーションを開くと、「開いているアプリケーション」ボックスにアプリケーション名が表示されます。アプリケーションを選択します。
(2)「参照」を選択して、アプリケーションの実行ファイルを選択します。

3

(1)

(2)



4ペンを「入力デバイス」リストから選択します。追加したアプリケーションのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。「すべて」アイコンは、「その他すべて」アイコンに変わります。

＊右の例で、「その他すべて」アイコンは Photoshop と Painter 以外のアプリケーションの「ペン」の設定に適用されます。Photoshop と Painter には個別の設定が適用されます。

4



ペン先とポインタの位置を合わせる

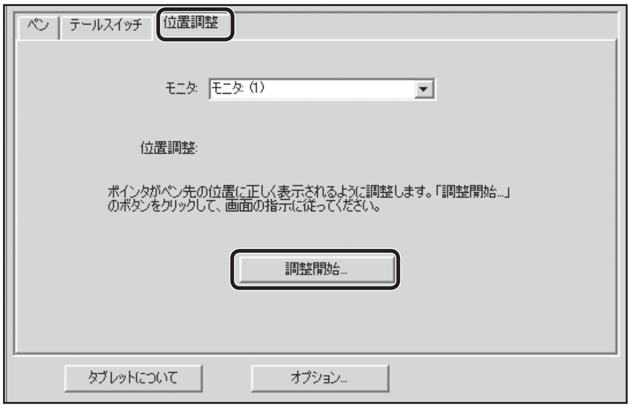
ペン先を液晶画面に近づけたとき、ペン先を置いた場所にポインタが正しく表示されるよう調整します (視差の調整)。

※ アナログ RGB 入力方式の液晶ペンタブレットをご使用の場合は、「画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだら…」を参考にまず画面の調整を行ってください (P.18-19)。

※ 複数のタブレットを接続してお使いの場合は、「複数のタブレットを使用する」(P.43) をご覧ください。

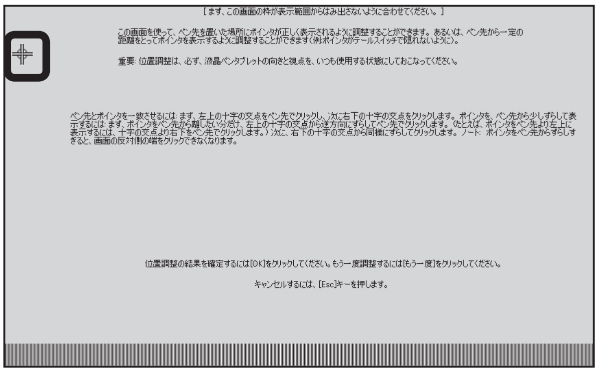
1 入力デバイスリストから設定するペンを選択し、「位置調整」タブを開きます。

2「調整開始 ...」をクリックすると、調整用画面が表示されます。



3左上に表示される十字マークの中心をペン先でクリックすると、十字マークが右下に移動します。

4右下の十字マークの中心をペン先でクリックすると、十字マークが消えます。これで位置の調整は終了です。
画面下の「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



付 録

汚れを落とす

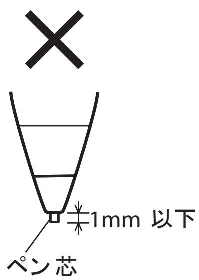
本機のケース部分やペンが汚れたら、清潔な柔らかい布で拭いてください。
汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めたものを清潔な柔らかい布にふくませ、固く絞ってから拭いてください。

液晶表示部の保護板が汚れたら、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくいときは水でかすかに湿らせてください。

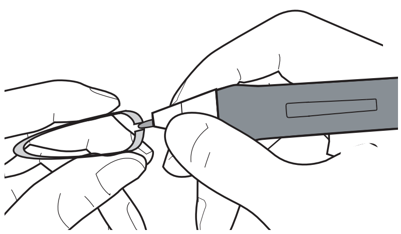
> アルコールなどの有機溶剤を使わないでください。表面が変色することがあります

ペン芯の交換

ペン芯が磨耗したとき（1mm 以下）は、図のようにペン芯を交換してください。ペン先が磨耗して角張りますと、液晶表示部の保護板表面を傷つけやすくなります。

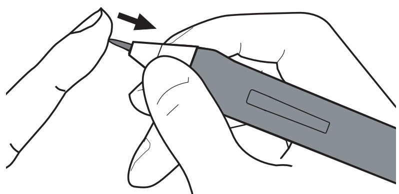


ペン芯を抜く



ピンセットのようなもので、芯を引き抜いてください。

新しい芯を差し込む



止まるまでしっかりと新しい芯を差し込んでください。

> お子さまが、電子ペンや芯を口の中に入れないようにご注意ください。芯が抜けて飲み込む恐れがあります。電子ペンを口の中に入れると、故障の原因になります。

ペン芯は力を入れすぎると、早く摩耗します。最大筆圧は 400g です。それ以上力を入れて使うと芯の寿命が短くなります。

故障かな？と思ったら

ディスプレイのトラブル

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	処置	参照
INFORMATION OUT OF RANGE	本機を接続する前にお使いになっていたディスプレイがあれば接続し、周波数を水平 30 ～ 91.1kHz、垂直 56 ～ 85Hz に合わせてください。そして、本機を接続してください。解像度も確認してください。	ー
INFORMATION NO SIGNAL GO TO POWER SAVE	● DVI-I ディスプレイケーブルの接続を確認してください。 ● DVI-I ディスプレイケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● コンピュータが省電力状態になっていたら、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 ● コンピュータのグラフィックボードが正しく装着されているか確認してください	P.14-15 ー ー ー
INFORMATION CABLE DISCONNECT GO TO POWER SAVE	● DVI-I ディスプレイケーブルの接続を確認してください。 ● DVI-I ディスプレイケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。	P.14-15 ー
INFORMATION 画面のリフレッシュレートを 70Hz以下に設定してください。 Current Timing : XXXX x XXX XX.XHz	画面のリフレッシュレートを 70Hz 以下に設定してください。リフレッシュレートは、コンピュータの「画面のプロパティ」ダイアログから設定できます。	ー

こんな症状があらわれたら

症状	処置	参照
電源表示ランプがオレンジ色に点灯していたり、オレンジ色と青色に点滅している	● DVI-I ディスプレイケーブルの接続を確認してください。 ● DVI-I ディスプレイケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● コンピュータが省電力状態になっていたら、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 ● コンピュータのグラフィックボードが正しく装着されているか確認してください	P.14-15 ー ー ー
電源表示ランプが点灯せず、画像が表示されない。	● 電源ケーブルの接続を確認し、電源スイッチをオンにしてください。	P.14-15
電源スイッチを押しても画像が表示されない。		ー

症状	処置	参照
画面が乱れる。 画面がゆれる。 画面がちらつく。	●周波数とトラッキングを調整してください。 ●コンピュータのグラフィックカードなどのディスプレイアダプタが、本機に対応していることを確認してください。 ●入力信号のグラフィックモードと周波数が、本機の対応範囲であることを確認してください。ただし、グラフィックカードの同期パルス幅が本機に合わない場合は、きれいに表示できないことがあります。 ●コンピュータのリフレッシュレート（垂直周波数）を、最適な画面になるように設定してください。	P.18-21 — P.49 —
画面が鮮明に表示されない。	●コントラストや明るさを調整してください。 ●周波数とトラッキングを調整してください。 ●コンピュータの表示解像度を UXGA（1600 × 1200）に設定してください。	P.18-21 P.18-21 —
画面が二重、三重になる。	● DVI-I ディスプレイケーブルを延長したり、インプットセレクタを使用したりしないでください。 ● DVI-I ディスプレイケーブルをコネクタにしっかり接続してください。	— —
画面の表示位置がずれている。 画像の大きさが正しくない。	●周波数とトラッキングを調整してください。 ●水平位置と垂直位置を調整してください。入力信号やビデオカードによっては、画像が画面全体に広がらない場合があります。	P.18-21 P.20-21
画面が暗い。	●輝度とバックライトを調整してください。	P.20-21
画面に波や縦縞が出る。 画面の色にむらがある。	●周波数とトラッキングを調整してください。	P.20-21
白色が白く表示されない。	●カラー設定を調整してください。	P.20-21

ペン、サイドスイッチが正しく動かない（Windows・Macintosh 共通）

症状	処置	参照
ペン先が少し触れただけでもクリックしてしまう。	●コントロールパネルでペン先の感触をより「硬い」設定にしてください。	P.34
かなり力を入れないとクリックできない。	●コントロールパネルでペン先の感触をより「柔らかい」設定にしてください。	P.34
ペン先が触れる前にクリックしてしまう。	●コントロールパネルでペン先の感触をより「硬い」設定にしてください。 ●ペン先を操作面に近づけただけでステータスランプが青色に変わるときは、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。	P.34 —
ペン先やサイドスイッチが利かない。	●ペン先やサイドスイッチを押したとき、ステータスランプが青色に変わることを確認してください。変わらなければ、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。	P.9
サイドスイッチが利かない。	●コントロールパネルでサイドスイッチが「無効」になっていないか確認してください。	P.36
ペン先でダブルクリックができない。	●できるだけ同じ場所を速くクリックしてください。 ●サイドスイッチやセカンドサイドスイッチを 1 回押してダブルクリックするように設定することもできます。 ●コントロールパネルで、ダブルクリック距離を大きくしたり、ペン先の感触を柔らかく設定してください。 ●通常のマウスのコントロールパネルで、ダブルクリックのスピードが速すぎないか確認してください。	— P.35 P.34 —
筆圧機能が使えない。	●ご使用のアプリケーションが筆圧機能に対応しているかどうか、ソフトウェアの説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を有効にするための設定が必要なものがあります。 ●タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてみてください。	— P.16-17

Windowsでのトラブル

症状	処置	参照
USBポートに接続してもペンでまったく操作できない。	● USBポートの接続を確認してください。USBハブに接続してお使いの場合は、コンピュータ本体のUSBポートに直接接続してみてください。 ●デバイスマネージャの、「不明なデバイス」の中に本機の型式がある場合は、このリストから選択し削除ボタンをクリックして、すべての設定から削除してください。次に、更新ボタンをクリックしてください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが出てきたら、それに従って、タブレットドライバを再インストールしてください。 ● USBポートが有効になっている場合は、「コントロールパネル」フォルダの「システム」を開き「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」の順に開いて、表示されるリストの中に「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」があることを確認してください。もしなければ、お使いのコンピュータを調整する必要があります。コンピュータメーカーにご相談ください。	P.14-15 — —
Windows上でフルスクリーンモードのDOSを使用中、ペンでポインタを動かせない。	● DOSマウスを使用中には、ペンはお使いになれません。マウスで操作してください。	—
通常のマウスのコントロールパネルで左利き用に設定したら、ペン先でクリックできなくなった。	● Windowsを再起動してください。	—

Macintoshでのトラブル

症状	処置	参照
USBポートに接続してもペンでまったく操作できない。	● USBポートの接続を確認してください。コンピュータ本体のUSBポートに直接接続してください。 ● USBカードを装着している場合、システムソフトウェアが正しくインストールされていないことが考えられます。 ●本機以外のフルスピード、ハイパワーのUSB周辺機器があれば接続して、コンピュータ本体のUSBポートが正しく動作するかどうか確かめてみてください。動作する場合はタブレットの故障が考えられます。	P.14-15 — —
マウスモードにしかならない。筆圧も使えない	●タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてください。	P.16-17

一般的なトラブル

症状	処置	参照
コンピュータを買い替えたり、新しいソフトウェアを使ったらタブレットが使えなくなった	●最新版のタブレットドライバをインストールすると、解決することがあります。最新版のタブレットドライバはホームページからダウンロードできます。 ▶ http://tablet.wacom.co.jp/	—
USBハブにタブレットを接続しているが、動作しない。	● USBハブの機種によってはタブレットが認識できない場合があります。 コンピュータ本機のUSBポートに直接接続してください。	—

仕 様

総合仕様

外形寸法（W × D × H）	561 × 421 × 48.2mm（スタンドを除く）
質量	10.4kg（スタンドを含む）
入力電圧	DC12V
消費電力	54W 以下（DC12V）
使用温度、湿度	5 ～ 35℃、20 ～ 80%RH（結露がないこと）
保管温度、湿度	-10 ～ 60℃、20 ～ 90%RH（結露がないこと）（温度 60℃では最高保管湿度は 38％、湿度 90％では最高保管温度は 42℃）

液晶表示部仕様

駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリクス液晶
画面サイズ	21.3 インチ
解像度（最高 75Hz）	1600 × 1200 ドット（UXGA）、1280 × 1024 ドット（SXGA）、1024 × 768 ドット（XGA）、800 × 600 ドット（SVGA）
画素ピッチ	0.270(W) × 0.270(H)mm
表示寸法	432 × 324mm
表示色	256 階調、1,677 万色
入力信号	アナログ RGB 信号　0.7Vp-p、75 Ω、正極性 同期信号 ---------- TTL レベル、2.2k Ω、極性自由（水平 / 垂直分離または複合同期信号） デジタル信号 ---- DVI 1.0 同期周波数 ------- 水平：31 ～ 92kHz、垂直：56 ～ 85Hz（ただし UXGA の場合は、水平：75kHz、垂直：60Hz のみ） 走査方式はすべてノンインタレース
輝度	220cd/ ㎡
プラク＆プレイ	DDC2B

- まれに、表示部のごく一部に常時点灯、非点灯のドットが見られることがありますが、故障ではありません。
- 静止画を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとに戻ります。

タブレット部仕様

読取方式	電磁誘導方式
読取可能範囲	432 × 324mm
読取分解能	最高 200 lpmm（0.005mm）
読取精度	± 0.5mm　ただし、操作面の周辺部（幅 20mm の範囲）は± 2.0mm
読取可能高さ	5mm
データ転送速度	最高 142 ポイント / 秒
筆圧レベル	1024 レベル
インタフェース	USB

スタンド

外形寸法 (W x D x H)	329 x 299 x 165mm
質量	1.7kg
回転	+180°～ -180°
傾き	垂直から 30 ～ 80°

電子ペン仕様（ZP-501E）

サイドスイッチのタイプ	ダブル
筆圧機能	ペン先スイッチとテールスイッチにあり
ペン先スイッチのタイプ	ストローク (沈み）なし
／動作ストローク	0.1mm 以下
テールスイッチのタイプ	ストロークあり
／動作ストローク	約 2mm
ペン先スイッチ ON 荷重	30g 以下
外形寸法、質量	φ 14.8 × 174.8mm、17g

アフターサービスのご案内

●ワコムのインターネットホームページ　http://tablet.wacom.co.jp/

各種製品情報、最新版タブレットドライバのダウンロード、よくお寄せいただくご質問とその回答、キャンペーン情報などを掲載したワコムのホームページです。

●ワコムクラブ / ワコムストアのご案内

WACOM CLUB について

WACOM CLUB はワコムペンタブレットユーザ様限定の会員サービスです。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/

会員になると、弊社からの最新情報をお届けする他、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」で付属品、オプション品、グラフィックソフトなどをご購入いただけます。

●サポート窓口のご案内

インターネット FAQ **http://tablet.wacom.co.jp/support/**	皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。ワコムのホームページから「サポート」→「FAQ& お問い合わせ」を選択してください。アクセスできます。 インターネット FAQ より解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。 また、ワコムクラブ会員になると、会員向け用 FAQ をご覧いただけます。さらに詳しい技術情報が掲載されています。
FAX によるサポート **FAX:03-5309-1514** **（カスタマーサポート）**	製品に関するご質問、ご相談に FAX でお答えします。 お問い合わせ用紙 *1 に正確にご記入の上、お送りください。FAX*2 にて折り返しご連絡します。
電話によるサポート **0570-05-6000**	製品に関するご質問、ご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 *3　9 時～ 20 時　土曜日 10 時～ 17 時（日・祝日休み） お問い合わせ用紙 *1 の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ（株）のサービスです。ダイヤル Q2 などの有料サービスではありません。この番号におかけいただいた場合は、電話の接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前に知ることができます。 PHS 及び IP 電話からはご利用いただけません。また、NTT 以外の電話会社の場合、この番号をご使用いただけない場合があります。以下の電話番号をご利用ください。 TEL:03-5309-1510

●修理依頼先のご案内

上記のサポート窓口からサポートセンターへお問い合わせください。サポートセンターで製品が故障かどうかを確認させていただきます。故障の場合は、製品の送付先をご案内いたします。

---

*1 ユーザーズガイドの巻末に綴じ込まれています。
*2 電子メールや FAX によるお問い合わせに対しては、弊社営業時間内に回答をさしあげます。内容により数日かかることがあります。
*3 弊社の休日を除きます。

お問い合わせ用紙／修理依頼票

FAX 03-5309-1514 カスタマーサポート行き

コピーしてお使いください。お手数をおかけいたしますが、迅速かつ確実な対応のために、必要事項をご記入願います。

□初めての修理

□再修理

フリガナ お名前	様	TEL: FAX:	日中の連絡先 TEL:
ご住所	〒		

タブレット型式	Cintiq 21UX	シリアル番号	
お買上店名		お買上日　　　年　　月　　日	

発生日時 / 頻度について、ご記入ください。

初めて故障した日	年　　月　　日
故障が発生するとき	電源オン時・使用開始直後・使用開始後　　分 / 時間してから・電源オフ時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　　時間 /　日に　回）・まれ（　　週間に　　回）

症状やエラーメッセージなど、故障内容について具体的にご記入ください。

ご使用のコンピュータと周辺機器についてご記入ください。

コンピュータ	メーカー名：　　　　　　　モデル名：

	メーカー名：	機種名：	接続ポート：
他の USB 機器			
USB ハブ			
ディスプレイ			
ビデオカード			
その他			

故障発生時、使用していたソフトウェアをご記入ください。

OS	□ Windows Vista □ Windows XP □ Mac OS (Ver.　　　　)
タブレットドライバ	Windows・Macintosh　Ver.
アプリケーション	名称　　　　　　　　　　Ver.

UJ-0303(G)

Cintiq21UXユーザーズガイド
2009年10月 第8版発行

Printed in China